

高知広域連携中枢都市圏ビジョン

(案)

平成 29 年 8 月

《 目 次 》

I. ビジョンの概要	1
1. 策定の趣旨	1
2. 連携中枢都市圏の名称・構成自治体	2
(1) 連携中枢都市圏の名称	2
(2) 連携中枢都市圏の構成自治体	2
3. 計画期間	2
II. 圏域の現状	3
1. 構成自治体の概要	3
2. 人口の動向	8
(1) 人口の推移と見通し	8
(2) 自然増減の動向	10
(3) 社会増減と移住の状況	10
3. 経済・産業の動向	13
(1) 産業構造	13
(2) 農林漁業	15
(3) 製造業	19
(4) 小売業	23
(5) 観光	25
(6) 産業支援機関等の状況	30
4. 高次都市機能の状況	31
(1) 行政機関	31
(2) 医療機関	32
(3) 広域的交通網	34
(4) 高等教育機関	35
(5) 文化・スポーツ等関連施設	36
5. 生活関連機能の状況	40
(1) 地域医療	40
(2) 介護・障がい者福祉	40
(3) 防災対策	42
III. 圏域の将来像と目標	44
1. 圏域の特徴・強みと課題	44
2. 圏域がめざす将来像	44
3. 将来人口の目標	45
4. 圏域づくりの基本方針	45
(1) 圏域全体の経済成長のけん引	45

(2) 高次の都市機能の集積・強化.....	45
(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上.....	46
5. 成果指標（K P I）	46
(1) 圏域全体の経済成長のけん引.....	46
(2) 高次の都市機能の集積・強化.....	47
(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上.....	47
6. ビジョンの推進体制	47
IV. 将来像の実現に向けた具体的な取組.....	49

I. ビジョンの概要

1. 策定の趣旨

わが国は、急速な人口減少・超高齢化という大きな課題に直面しており、その傾向は特に高知県において顕著となっている。

高知県は、人口の自然減で 15 年、高齢化率の上昇で 10 年、全国に先行しており、人口減少や少子高齢化の克服に向け、地域活性化による持続可能な社会経済の維持や、地域住民が安心して快適な暮らしを営んでいくための早急な対策が必要となっている。

これまで、県内各市町村では、豊かな自然環境や特色ある歴史文化等の地域の資源を活用しながら、それぞれの特性に応じて観光振興や移住促進等の施策を連携して進めてきており、平成 22 年度には県中央部で高知市を中心市として「高知中央広域定住自立圏」を、幡多地域では四万十市・宿毛市を中心市として「幡多地域定住自立圏」を形成し、様々な取組をそれぞれの圏域で連携して行ってきた。

一方、平成 26 年度に国において策定された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で、地域連携による経済・生活圏の形成に向けた施策として、定住自立圏の形成の促進に加え、「連携中枢都市圏の形成」が盛り込まれたことから、高知市では、平成 27 年 10 月に策定した「高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に、県全体の牽引役としての役割を発揮していく方針を定めるとともに、県内市町村との社会的・経済的な関係性等を踏まえ、これまでの定住自立圏よりも連携機能を高めるために、「連携中枢都市圏」の形成を図ることとした。

高知県においては、様々な都市機能が集積する高知市が圏域人口の約 46%を擁する一方、他の市町村の人口規模はいずれも 5 万人以下という一極集中の圏域構造となっているため、高知市と他市町村との社会的・経済的なつながりが強く、相互に依存する関係にある。

こうした特性を踏まえ、高知市と県内全市町村との連携協約に基づく連携事業により、人口や都市機能が集中・集積する高知市の持つマーケットや、人やモノのハブ機能等を活かした取組を進めるとともに、県による取組の先導性を高める垂直的な補完や、行政サービスへの水平的な補完により、県内の全市町村が一体となって連携中枢都市圏を形成することで、人口減少・少子高齢化の克服に向け、県全域における強みや特色を活かした魅力ある都市圏の形成を目指すこととする。

本ビジョンは、この圏域の中長期的な将来像を示し、圏域内の各市町村が持つ強みや特色を活かしながら、連携して進める具体的な取組等を取りまとめたものである。

2. 連携中枢都市圏の名称・構成自治体

(1) 連携中枢都市圏の名称

連携中枢都市圏の名称は、「高知広域連携中枢都市圏」とする。

(2) 連携中枢都市圏の構成自治体

連携中枢都市圏を構成する自治体は、高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、香南市、香美市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村、本山町、大豊町、土佐町、大川村、いの町、仁淀川町、中土佐町、佐川町、越知町、梶原町、日高村、津野町、四万十町、大月町、三原村、黒潮町の34市町村である。

3. 計画期間

計画期間は、平成30年度から平成34年度の5年間とする。

II. 圏域の現状

1. 構成自治体の概要

■高知市（連携中枢都市）

高知市は、高知県の中央部に位置し、企業や商業施設のほか、大学等の高等教育機関が集積するとともに、県内屈指の施設園芸地域や緑豊かな中山間地域を有する都市である。また、桂浜やよさこい祭り、日曜市等の観光資源が豊富で県外から多くの人を訪れている。

■室戸市

室戸市は、県都高知市の東方 78km に位置し、遠洋マグロ漁、定置網漁等の漁業や温暖な気候を利用した早出のビワや栗、土佐備長炭の生産等の農林業が盛んで、地域資源を活用した海洋深層水や室戸世界ジオパーク等、県を代表する観光地となっている。

■安芸市

安芸市は、県東部地域最大の市街地を形成している。産業としては、豊富な水、長い日照時間や温暖な気候を利用して、平地では施設園芸、中山間地域では柚子やナスの生産が盛んである。また、安芸沖はシラス漁が盛んで、ちりめんじゃこの加工も行われている。

■南国市

南国市は、高知県の中東部に位置しており、高知龍馬空港や高知自動車道南国 I C を有するなど交通の要衝となっている。また、早場米や園芸野菜の産地として知られており、シシトウ・小ナス・ピーマンなどの生産が盛んである。

■土佐市

土佐市は、仁淀川の河口部に位置し、高知市に隣接している。温暖な気候と豊かな自然の恩恵を受け、果物類・野菜類・花卉類など農業のほか、仁淀川の豊かな水を活用した製紙工業や、沿岸漁業、水産物加工など、多彩な産業が成り立っている。

■須崎市

須崎市は高知県の中西部に位置し、国の重要港湾である須崎港を有するとともに、名物鍋焼きラーメンをはじめ、みょうがやウツボなど特産品が豊富である。また、須崎市マスコットキャラクター「しんじょう君」のイベントなどで全国から多くの人を訪れている。

■宿毛市

宿毛市は四国の西南端に位置し、黒潮の影響を強く受ける宿毛湾は、豊かな漁場となっている。また、県内唯一の有人離島「沖の島」、「鵜来島」は、磯釣りやダイビングのメッカである。温暖な気候を活かし「文旦」、「直七」など、柑橘系果樹栽培が盛んである。

■土佐清水市

土佐清水市は、四国の最西南端に位置し、足摺沖の好漁場と風光明媚な自然美を有することから漁業と観光のまちとして栄え、主要魚種のメジカを原料とする宗田節生産量は全国シェアの8割を占め、足摺岬や竜串海岸を中心に年間約70万人の観光客が訪れている。

■四万十市

四万十市は、高知県の西南部「幡多地域」の中央部に位置し、古くから幡多の政治、経済、文化、交通の中心地として栄えてきた。四万十川に代表される豊富な地域資源を活かした、農・林・水産・商工・観光業を中心に、積極的な産業振興に取り組んでいる。

■香南市

香南市は、高知市東部約17kmに位置し、豊かな自然環境に恵まれ、農林水産業を中心に、商工業地域が加わった理想的なまちである。また、どろめ祭りやみなこい港祭り、手結盆踊りなど、様々なイベントが開催され、県内屈指の人気スポットとして定着している。

■香美市

香美市は、高知県の北東部の山間に位置しており、市内にある高知工科大学は、地場産業や地域社会と連携した産・学・官の相互的な協力や交流が行われている。また、べふ峡、やなせたかし記念館や龍河洞等の観光スポットは、県外からも多くの観光客が訪れている。

■東洋町

東洋町は、高知県の最東端に位置し、ポンカンや小夏などの柑橘栽培や漁業が主産業であり、また全国的に有名な生見サーフィンビーチや清流野根川の鮎釣りなど観光資源も豊富である。

■奈半利町

奈半利町は、県都高知市から東に約50kmに位置し、農漁業を主要産業とした古くから県東部の交通の要衝として栄えてきた町であり、また、海・山・川と三拍子そろった豊かな自然と伝統的建造物で形成された町並み等、自然と歴史が美しくミックスされた町である。

■田野町

田野町は、山・川・海の豊かな自然に囲まれた町であり、町の中心にはスーパーなどの生活環境施設、医療施設、図書館などの文化施設や公共交通機関が集約しており、四国で一番小さな町でありながら、コンパクトで住みやすい「暮らしやすさ」が自慢の町である。

■安田町

安田町は高知県東部に位置し、町を南北に貫流する安田川流域に広がる清流のまちで、蔬菜園芸発祥の地としてハウス園芸が盛んなほか、清流の伏流水を活かした醸造業も盛んで、「土佐鶴酒造」「南酒造場」の2蔵元が銘酒を醸している。

■北川村

北川村は、県都高知市から東へ約 60km に位置しており、幕末の志士中岡慎太郎が奨励した柚子栽培は全国有数の産地となっている。また、フランスから世界で唯一認められた北川村「モネの庭」マルモッタンや良質の北川村温泉、中岡慎太郎館などの芸術と文化の観光資源がある。

■馬路村

馬路村は、高知県の東部に位置しており、標高 1,000m 級の山々で隔たれた自然豊かな地域である。古くから林業が盛んで、千本山にそびえる魚梁瀬杉は高知県の県木に指定されている。近年は柚子の6次産業化に成功し、笑顔あふれる元気な村として知られている。

■芸西村

高知県東部に位置する芸西村は、温暖な気候に恵まれ、施設園芸によるナスやピーマン、花卉栽培が盛んに行われている。高規格道路が延伸し、空港や高知市内へのアクセスが更に良くなったことや、子育て支援施策の重点実施により、近年社会増が続いている。

■本山町

本山町は高知県の北部、四国の中央に位置し、90%は森林で水と緑に恵まれた中山間地域である。棚田でのブランド米「土佐天空の郷」の元気ある取組みや白髪山・吉野川・棚田等の資源を活かした体験交流、アウトドア活動に町外から多くの方が訪れている。

■大豊町

大豊町は、高知県東北端四国山地の中央部に位置し、総面積の 88%が森林であることから、森林資源を活用した安定した雇用の創出を目指し取り組みを進めている。また、碁石茶や銀不老といった大豊固有の特産品の他、一級河川吉野川でのラフティングも人気である。

■土佐町

土佐町は四国の中央部に位置し、町を東西に吉野川が流れており、「四国の水がめ」と呼ばれる早明浦ダムがある自然に囲まれた町である。農林業と畜産が盛んで、良質米と「土佐あかうし」の産地でもある。また先進的な福祉や教育に取り組んでおり、近年移住者が増加している。

■大川村

大川村は、高知県の最北端、県都高知市の真北に位置しており、農畜林業等の第一次産業を基幹とした山村である。また、周囲を山に囲まれており、登山客や、黒牛、土佐はちきん地鶏を食すイベント謝肉祭には、多くの人が訪れている。

■いの町

いの町は、高知県の中央部に位置し、県都高知市に隣接しながらも水質日本一の仁淀川や吉野川、また、石鎚国立公園に指定されている瓶ヶ森や寒風山をはじめ山・川の豊かな自然に恵まれ、土佐和紙発祥の地として昔から製紙業が盛んな町である。

■仁淀川町

仁淀川町は、高知県の北西部に位置し、農林業や鉱業が主要産業となっている。神楽や秋葉祭り、太鼓踊りなどの伝統文化が多く、また、桜や花桃などの観光資源も豊富である。清流仁淀川の源流仁淀ブルーを活かした観光を推進している。

■中土佐町

中土佐町は、太平洋岸に面した高知県の中西部に位置し、青い海、日本最後の清流四万十川、緑豊かな山野といった自然環境に恵まれた町で、国の重要文化的景観にも選定され、土佐の一本釣り、大正町市場、沈下橋は全国的に有名で県外からも多くの人が訪れている。

■佐川町

佐川町は、高知県の中西部、愛媛方面への国道とＪＲ土讃線が通る交通の結節点に位置している。江戸時代から続く酒蔵を中心とした町並みを残し、牧野富太郎博士など多くの偉人を輩出したことから「文教のまち」として知られている。

■越知町

越知町は高知県の中央部、清流仁淀川が流れる中山間地域に位置し、町のシンボル横倉山や、夏のカヌー・ラフティング、秋のコスモス祭りなど多くの人が訪れる。また高知ファイティングドッグスのホームタウンとして、スポーツが身近に感じられる町となっている。

■梶原町

梶原町は、高知県の中西部、愛媛県との県境に位置し、四国カルストに抱かれた山間の町で、「雲の上のまち」ともよばれている。主要産業は農林業である。現在は、環境モデル都市の認定を受け、風力や水力など自然エネルギーを活かした町づくりを進めている。

■日高村

日高村は絶滅危惧種などの動植物を抱える自然豊かな環境がある一方、高知市から16kmと意外に近い村である。また、国宝を擁する貴重な文化遺産もあり、文化的にも歴史を感じることができる。特産品はシュガートマトや霧山茶など自然を活かしたものが多い。

■津野町

津野町は、高知県の中西部に位置しており、約90%を山林が占め山間地域では積雪もある。また、四国カルスト天狗高原や四万十川源流点等の観光資源が豊富で、幕末の志士吉村虎太郎、明治政財界で活躍した片岡直輝、直温兄弟などの偉人を輩出している。

■四万十町

四万十町は、高知県の中西部にある山・川・海の自然に囲まれた中山間地域の町で、特産品として鮎や栗焼酎がある。全国的にも有名な四万十川の中流域に位置し、高速道の延伸とともに観光客が年々増加している。

■大月町

大月町は、高知県の西南端に位置し、温暖な気候風土に恵まれている。漁業と農業の盛んな町だが、最近では磯釣りやダイビングが楽しめる柏島をはじめ足摺宇和海国立公園の自然美や海中景観など観光面において全国から注目されている。

■三原村

三原村は、高知県西南部の幡多地域に位置し、標高約120mの高原盆地を形成する水と緑の豊かな村である。主要産業は農林業で、古くから米どころとして知られており、美味しいお米から造られる「どぶろく」が有名であるほか、柚子の産地化にも取り組んでいる。

■黒潮町

黒潮町は高知県の西南地域に位置しており、南国特有の温暖な気候で施設園芸や土佐カツオ一本釣り漁業が盛んである。また、美しい4kmの砂浜を活用した「Tシャツアート展」など観光資源も豊富で県外からも多くの人が訪れている。

2. 人口の動向

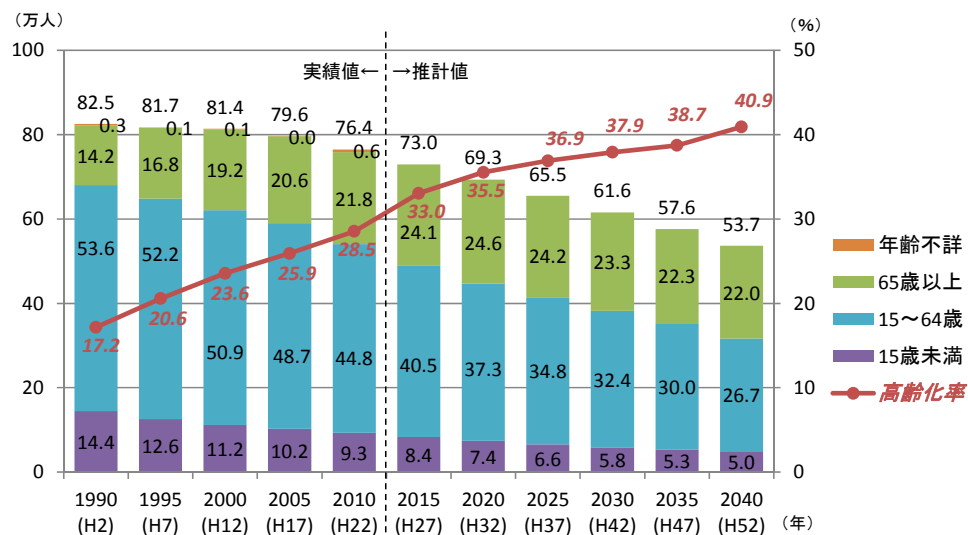
(1) 人口の推移と見通し

圏域の総人口は今後も減少することが見込まれており、年少人口と生産年齢人口が減少する一方で、老年人口は増加し、高齢化率も上昇することが予想されている。

圏域人口を地域別にみると、10万人未満の地域がほとんどである中、高知市は約33万人と圧倒的に多く、人口の約46%が高知市に集中している。また、人口の減少や高齢化率の上昇のスピードには地域ごとに違いが見られ、人口の減少スピードが速い地域では、高齢化率の上昇スピードも速くなっている。

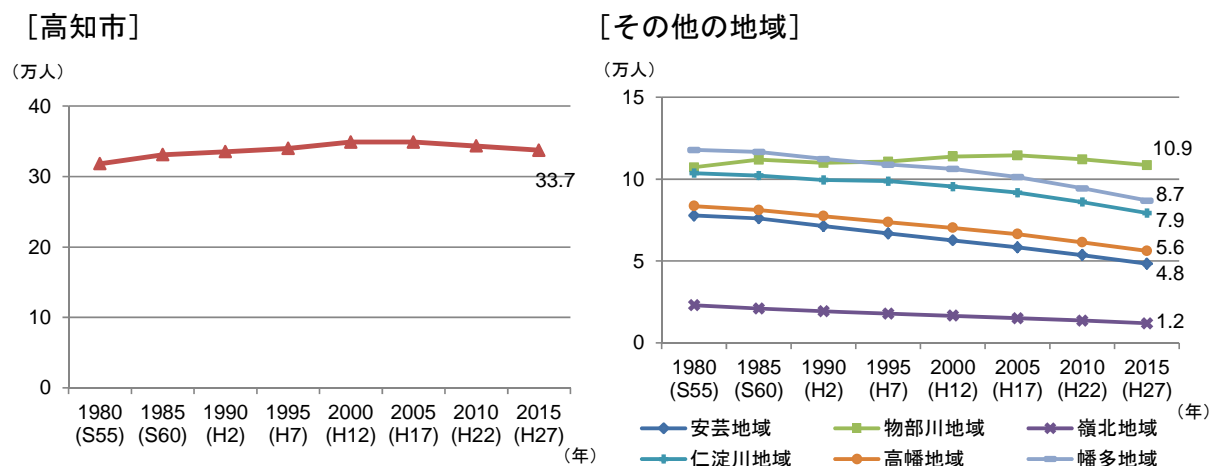
人口減少と高齢化の進行が顕著な地域においても、住み慣れた地域での暮らしを継続できるよう、生活関連機能サービスの維持が求められるほか、経済活動の活性化や高知市及び県外との経済交流、それに伴う交流人口の増加等、地域振興につながる取組に圏域全体で取り組むことが必要になる。

図表 II-1 年齢3区分別人口の推移と高齢化率の見通し



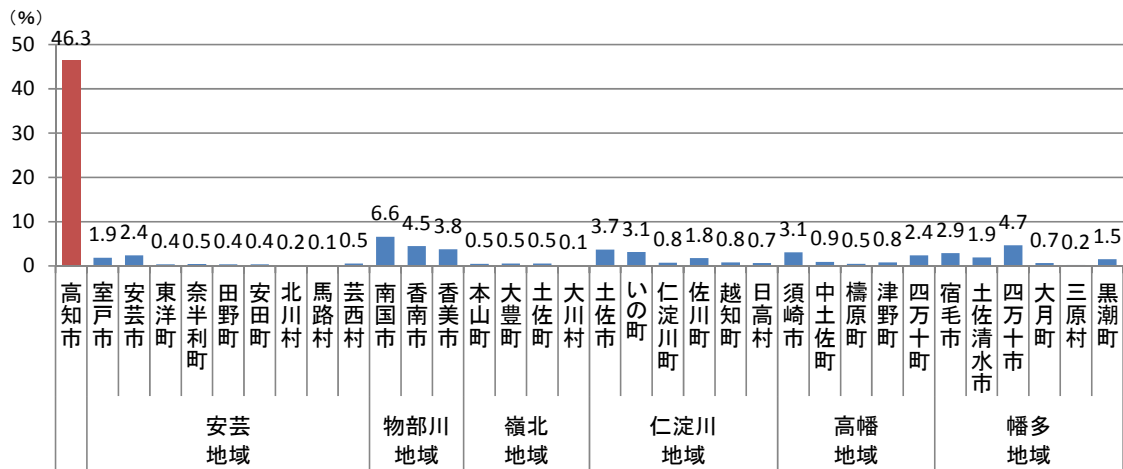
(資料)総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」

図表 II-2 総人口の推移(地域別)



(注)2015年は速報値。(資料)総務省「国勢調査」

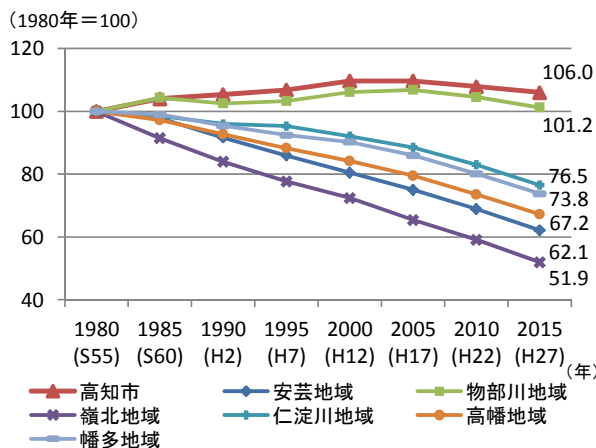
図表 II-3 県の総人口に占める市町村別の人口構成比(2015(平成 27)年)



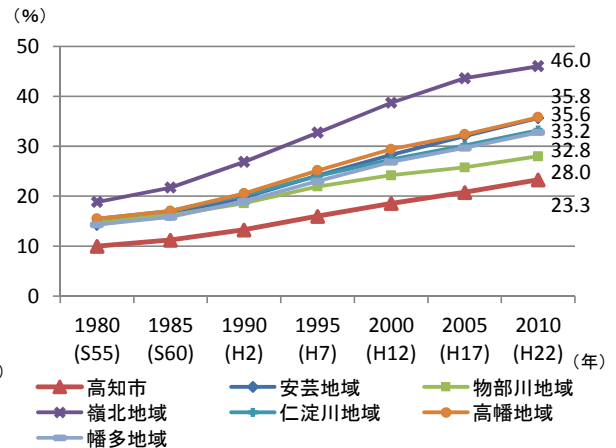
(注)速報値。(資料)総務省「国勢調査」

図表 II-4 地域別人口(1980(昭和 55)年=100)及び高齢化率の推移

[人口の推移 (1980 (昭和 55) 年=100)]



[高齢化率の推移]

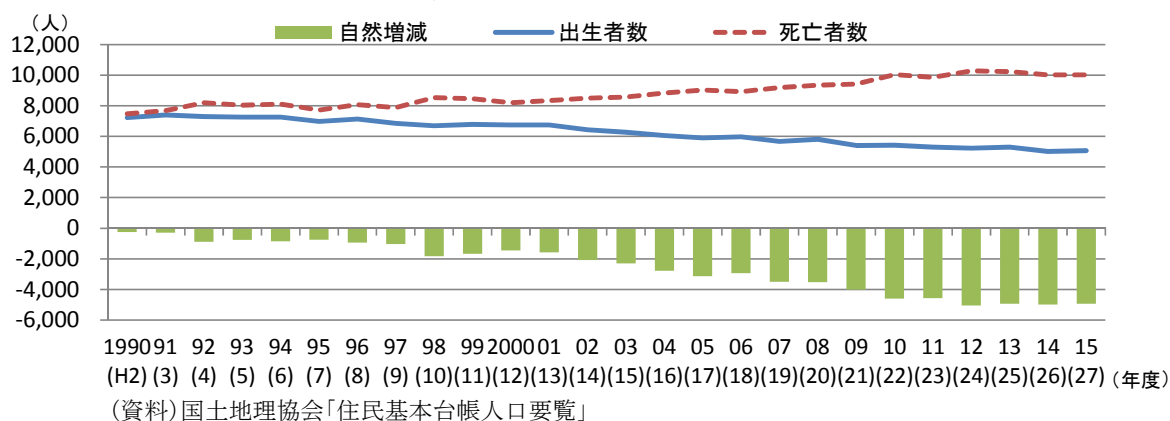


(注)2015 年は速報値。(資料)総務省「国勢調査」

(2) 自然増減の動向

圏域の自然増減（出生者数・死亡者数）の動向をみると、1990（平成2）年以降一貫して自然減が続いており、またその規模も拡大している。出生数の増加は地域の活力維持につながるため、どの地域でも安心して出産・子育てができる環境づくりが求められる。

図表 II-5 自然増減の推移



(3) 社会増減と移住の状況

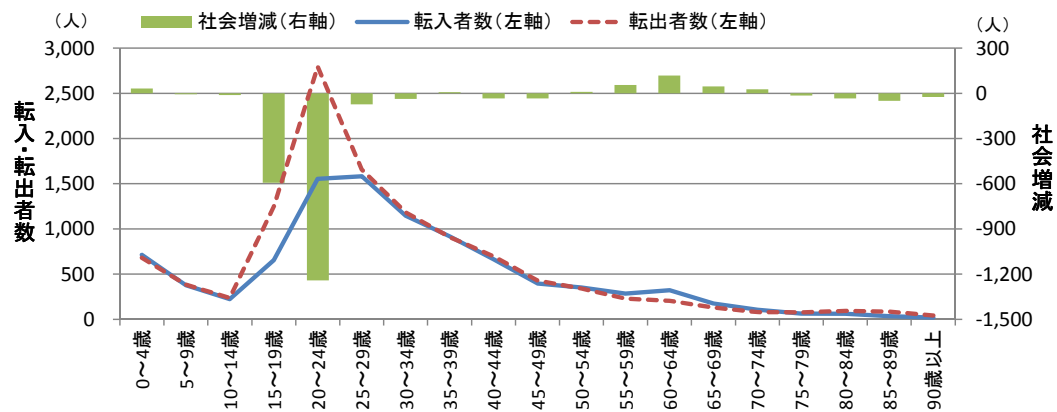
圏域における社会増減（転入者数・転出者数）の状況を年齢5歳階級別にみると、15～19歳や20～24歳における社会減が著しく、多くの若者が進学や就職を機に圏域外に転出していることが推察される。

また、圏域内の地域別に、相手先地域別の純移動数の状況をみると、県内では物部川地域を除く各地域から高知市に向けて人口が流入していること、また、比較的人口規模が大きい物部川地域と仁淀川地域では、高知市以外の県内他地域から人口が流入していることがわかる。一方で、高知市からは、県内から流入した人口以上の規模で県外に人口が流出しており、特に関西地域と東京圏への人口流出が大きい。

若い世代をはじめとする人口ができるだけ地域に留まれるよう、それぞれの地域での雇用の創出や生活利便性の維持・向上が求められるとともに、高知市には、他地域から流入した人口を県外に流出させないダム機能と、高知市から各地域に人口が移動するようなポンプ機能を備えることが求められる。

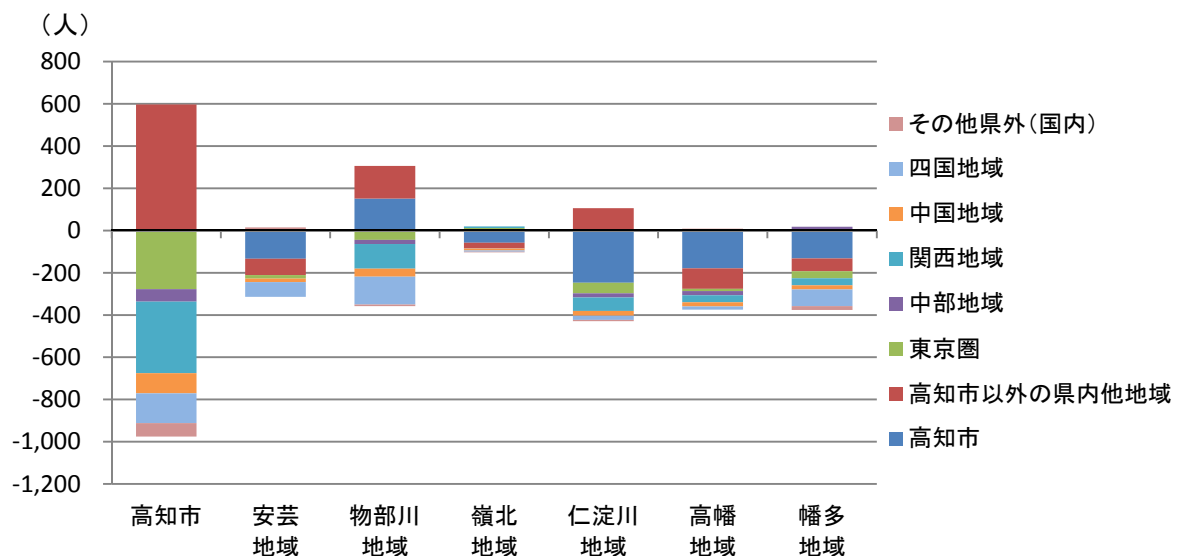
一方で、圏域内各地域への移住者は年々増加しており、特に2013（平成25）年以降は大きく増加している。また、地域別では高知市が最も多いものの、圏域内各地域にも分散しており、特に幡多地域は、高知市から比較的距离があるにもかかわらず多くの移住者を集めているなど、地域ごとの魅力が県外に伝わり、理解されていることがうかがえる。

図表 II-6 年齢5歳階級別の転出入の状況(2012(平成 24)年・2013(平成 25)年平均)



(資料) 総務省「住民基本台帳移動報告」

図表 II-7 相手先地域別純移動数の状況(地域別・2012(平成 24)年・2013(平成 25)年平均)



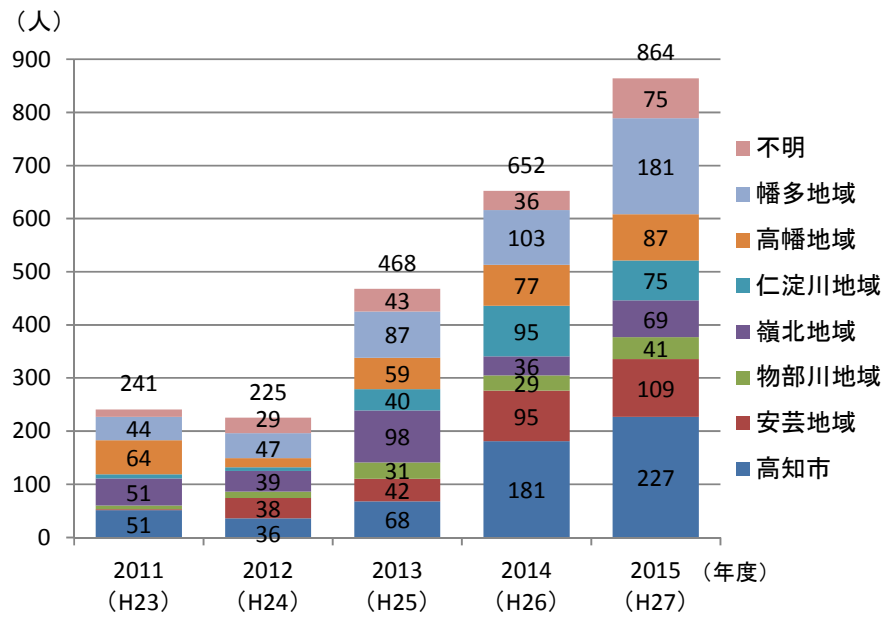
(注) 東京圏: 埼玉県, 千葉県, 東京都, 神奈川県

中部地域: 新潟県, 富山県, 石川県, 福井県, 山梨県, 長野県, 岐阜県, 静岡県, 愛知県

関西地域: 三重県, 滋賀県, 京都府, 大阪府, 兵庫県, 奈良県, 和歌山県

(資料) 総務省「住民基本台帳移動報告」

図表Ⅱ-8 移住者数の推移(地域別)



(注1) 各年度における移住者数。

(注2) 20人未満は値ラベルの表示を省略している。

(資料) 高知県資料

3. 経済・産業の動向

(1) 産業構造

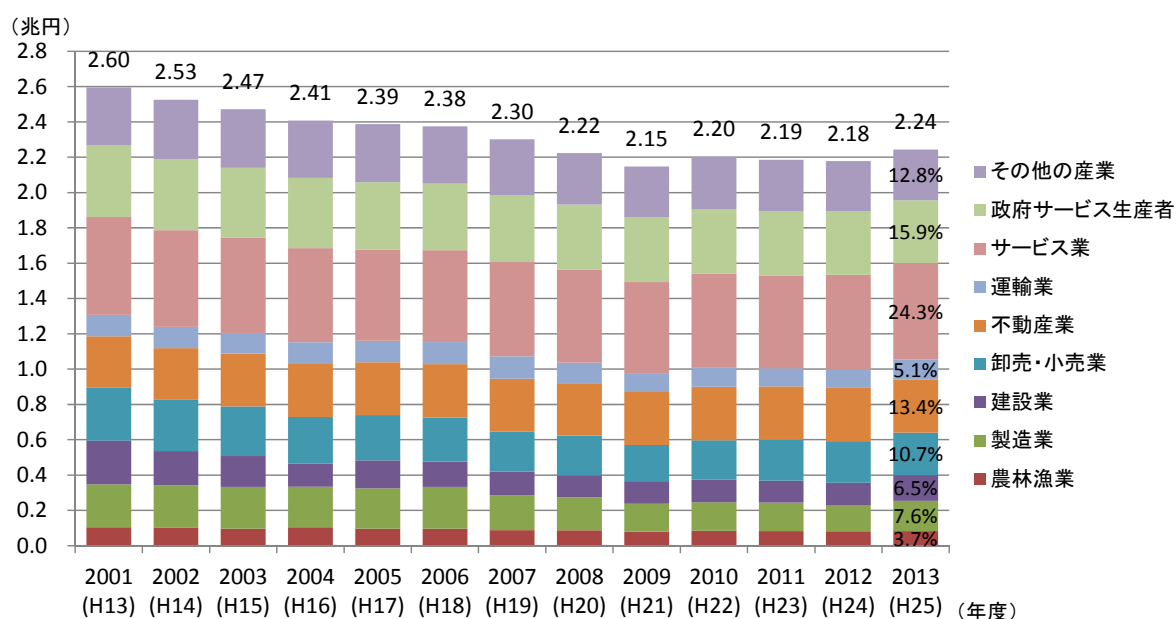
圏域における総生産は、2009（平成 21）年まで減少傾向にあったが、2010（平成 22）年以降は、若干の変動はあるものの、増加傾向に転じている。

圏域の生産額に占める構成比が最も大きい産業はサービス業であり、総額の 2 割以上を占めている。それ以外では、不動産業、卸売・小売業、政府サービス生産者などの構成比が大きい。

2010（平成 22）年における産業別の就業者数から産業構造をみると、全ての地域に共通して構成比が大きいのは、卸売業、小売業と医療、福祉である。また、高知市以外の地域では、農業の構成比も大きく、特に安芸地域や嶺北地域、高幡地域では約 2 割を占めている。さらに、物部川地域と仁淀川地域では、製造業の構成比が大きく、上記の産業に並ぶ水準である。

就業者数の変化をみると、2000（平成 12）年から 2010（平成 22）年にかけて、いずれの地域でも減少しており、特に建設業、卸売・小売業、飲食店、製造業における就業者数の減少は、一部の地域を除いて 1～2 万人規模と顕著である。

図表 II-9 経済活動別総生産の推移



(注1)「輸入品に課される税・関税」及び「(控除)総資本形成に係る消費税」は含まない。

(注2)農林漁業及び 1,000 億円以上の産業以外は「その他の産業」にまとめた。

(資料)高知県「平成 25 年度 市町村経済統計」

図表 II-10 産業別 15 歳以上就業者数の構成比(地域別・2010(平成 22)年)

(単位:人)

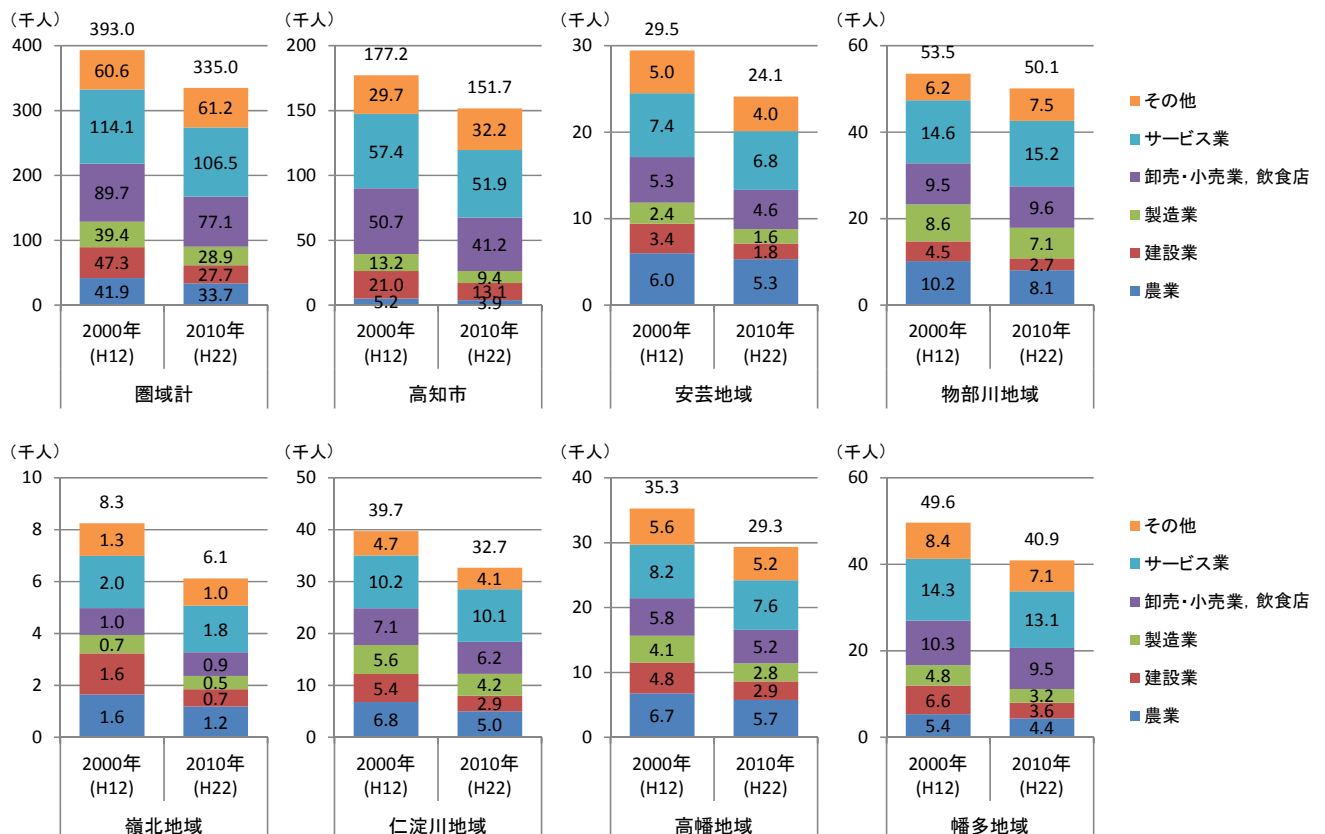
業種	圏域計	高知市	安芸地域	物部川地域	嶺北地域	仁淀川地域	高幡地域	幡多地域
総数	335,005	151,700	24,135	50,113	6,122	32,677	29,348	40,910
農業	10.0%	2.6%	22.0%	16.1%	19.3%	15.4%	19.6%	10.7%
林業	0.9%	0.1%	1.9%	0.4%	4.8%	0.8%	3.1%	1.3%
漁業	1.2%	0.1%	3.8%	0.2%	0.1%	0.7%	2.6%	4.4%
鉱業、採石業、砂利採取業	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.5%	0.3%	0.1%
建設業	8.3%	8.6%	7.6%	5.4%	10.9%	9.0%	9.8%	8.9%
製造業	8.6%	6.2%	6.8%	14.2%	8.5%	13.0%	9.4%	7.7%
電気・ガス・熱供給・水道業	0.4%	0.5%	0.4%	0.3%	0.3%	0.3%	0.4%	0.4%
情報通信業	1.1%	1.9%	0.2%	0.8%	0.1%	0.1%	0.2%	0.3%
運輸業、郵便業	3.9%	4.3%	2.8%	4.4%	3.1%	3.0%	3.7%	3.3%
卸売業、小売業	17.0%	20.1%	13.2%	14.3%	11.5%	14.4%	13.2%	16.3%
金融業、保険業	2.3%	3.3%	1.1%	1.3%	1.2%	1.1%	1.1%	2.1%
不動産業、物品賃貸業	1.2%	1.9%	0.4%	0.9%	0.2%	0.5%	0.4%	0.8%
学術研究、専門・技術サービス業	2.2%	3.1%	1.0%	1.8%	1.6%	1.5%	1.2%	1.8%
宿泊業、飲食サービス業	6.1%	7.1%	5.7%	4.7%	3.3%	4.5%	4.4%	7.0%
生活関連サービス業、娯楽業	3.6%	4.2%	3.3%	3.3%	3.0%	3.0%	2.6%	3.7%
教育、学習支援業	5.0%	5.0%	4.4%	6.0%	3.2%	5.0%	4.4%	4.9%
医療、福祉	15.0%	15.6%	13.4%	14.6%	14.0%	15.6%	12.5%	15.5%
複合サービス事業	1.3%	0.6%	2.6%	1.3%	3.2%	2.1%	2.0%	1.7%
サービス業(他に分類されないもの)	4.6%	5.7%	3.3%	3.2%	4.4%	4.0%	3.3%	4.4%
公務(他に分類されるものを除く)	4.5%	4.4%	5.2%	4.7%	6.8%	4.8%	4.3%	4.2%
分類不能の産業	2.7%	4.6%	0.8%	1.8%	0.4%	0.8%	1.6%	0.5%

(注1) 従業地による就業者数。

(注2) グレーの網掛けは就業者数の構成比が 10%以上の産業。

(資料) 総務省「国勢調査」

図表 II-11 主要産業別 15 歳以上就業者数の変化(地域別)



(注1) 従業地による就業者数。

(注2) 2010 年の圏域計で構成比が5%以上のものを主要産業とし、それ以外の産業を「その他」として束ねている。

(注3) 産業分類が改訂されているため、2000 年の産業分類に合わせて 2010 年の産業分類を統合しているが、データの制約により、2010 年の「卸売・小売業、飲食店」には、「宿泊業」が含まれている。(以下同様)

(資料) 総務省「国勢調査」

図表 II-12 産業別 15 歳以上就業者数の増減(地域別・2000(平成 12)年→2010(平成 22)年)

(単位:人)

業種	圏域計	高知市	安芸地域	物部川地域	嶺北地域	仁淀川地域	高幡地域	幡多地域
総数	-58,027	-25,469	-5,332	-3,419	-2,128	-7,058	-5,907	-8,714
農業	-8,253	-1,265	-698	-2,105	-469	-1,732	-1,007	-977
林業	495	9	62	-7	3	54	242	132
漁業	-2,054	-167	-539	-73	0	-153	-393	-729
鉱業	-468	-107	-40	-74	-6	-82	-78	-81
建設業	-19,604	-7,963	-1,585	-1,831	-923	-2,459	-1,892	-2,951
製造業	-10,526	-3,785	-784	-1,468	-182	-1,369	-1,353	-1,585
電気・ガス・熱供給・水道業	-535	-154	-49	-73	-22	-78	-51	-108
運輸・通信業	-1,596	-521	-345	440	-133	-241	-354	-442
卸売・小売業、飲食店	-12,606	-9,507	-694	49	-130	-918	-659	-747
金融・保険業	-2,197	-1,462	-139	-98	-4	-147	-126	-221
不動産業	1,590	888	42	263	7	93	82	215
サービス業	-7,593	-5,474	-621	584	-212	-54	-599	-1,217
公務(他に分類されないもの)	-1,314	-890	-114	265	-77	-146	-162	-190
分類不能の産業	6,634	4,929	172	709	20	174	443	187

(注1)従業地による就業者数。

(注2)産業分類が改訂されているため、2000 年の産業分類に合わせて 2010 年の産業分類を統合したうえで、増減を計算している。

(資料)総務省「国勢調査」

(2) 農林漁業

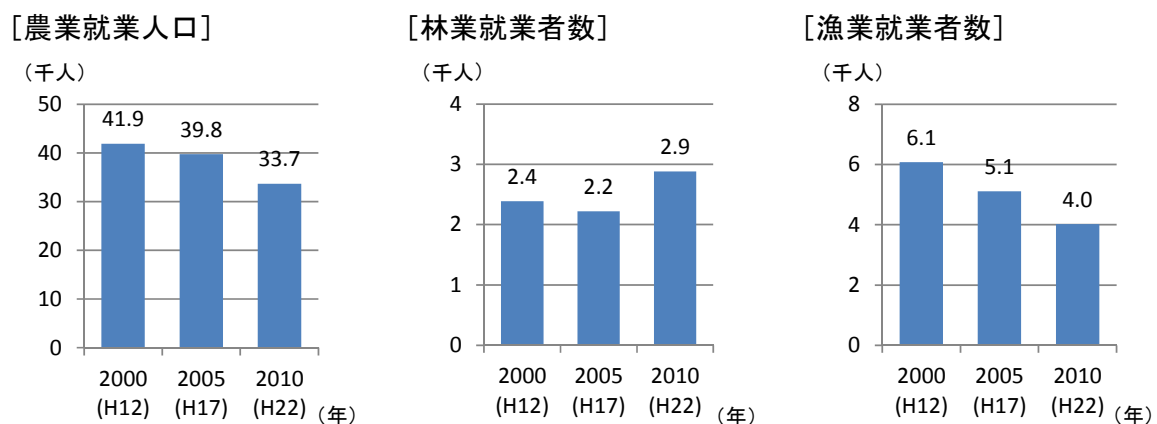
就業者数の構成比が大きい農業における就業人口は、2000(平成 12)年から 2010(平成 22)年の 10 年間で、約 8 千人減少している。また、漁業についても同様に、約 2 千人減少しており、農業、漁業については、担い手の確保が喫緊の課題である。

一方、林業では、一度減少したものの、直近では回復しているため、今後もこの傾向を維持していくことが求められる。

圏域における主な 1 次産業産品には、ナスやしょうがをはじめとする野菜や、文旦、柚子等の柑橘類のほか、杉、桧等の林産品、カツオ、金目鯛等の水産品がある。

また、圏域内の各地で、第 1 次産業を核とした地域産業クラスターの形成及びプロジェクトの取組が進んでいる。

図表 II-13 農林漁業就業者数の推移



(注)従業地による就業者数。(資料)総務省「国勢調査」

図表 II-14 圏域における主な1次産業産品

地域	市町村	1次産業産品
高知市	高知市	グロリオサ, きゅうり, トマト, 新高梨, 柚子
安芸	室戸市	金目鯛, ナス, びわ, ナガレコ, サツマイモ
	安芸市	ナス, 柚子, シラス, 土佐ジロー, 入河内大根
	東洋町	トマト, ナス, マグロ, アユ, ポンカン
	奈半利町	いちじく, スイカ, 金目鯛, 豚(肉), 米
	田野町	オクラ, 米, 土佐和牛(肉), ナス, 茶
	安田町	アユ, ナス, 柚子, オクラ, 自然薯
	北川村	柚子, ナス, ミョウガ, オクラ, 鹿肉
	馬路村	柚子, 魚梁瀬杉, 桧, アユ, 米
	芸西村	ナス, ピーマン, ブルースター, トルコギキョウ, ダリア
物部川	南国市	米, しょうが, シシトウ, 軍鶏, 四方竹
	香南市	シイラ, どろめ, ニラ, みかん, メロン
	香美市	ニラ, やっこねぎ, 柚子, 青ねぎ, オクラ
嶺北	本山町	米(土佐天空の郷), しょうが, カラーピーマン, 土佐和牛(肉), 米ナス
	大豊町	米, 柚子, 猪・鹿(肉), 銀不老, ぜんまい
	土佐町	米, 柚子, ゆり, 杉, 土佐和牛(肉)
	大川村	はちきん地鶏, 黒牛, シシトウ, ほうれん草, ゆり
仁淀川	土佐市	土佐文旦, しょうが, メロン, ゆり, 一本釣りうるめ
	いの町	しょうが, 白芽芋, マンゴー, 柚子, きゅうり
	仁淀川町	茶, トマト, アユ, 杉, 桧
	佐川町	いちご, 新高梨, 牛乳(ぢちち), ニラ, 茶
	越知町	山椒, しょうが, 文旦, アユ, 土佐和牛(肉)
	日高村	トマト, しょうが, 米, 茶, オクラ
高幡	須崎市	ミョウガ, きゅうり, ポンカン, ウツボ, ソウダカツオ(メジカ)
	中土佐町	カツオ, 米, 七面鳥(肉), 桧, イチゴ
	梶原町	シシトウ, ナス, ミョウガ, しいたけ, 土佐和牛(肉)
	津野町	しょうが, 茶, ミョウガ, 土佐和牛(肉), アメゴ
	四万十町	米, しょうが, 桧, アユ, 豚(肉)
幡多	宿毛市	直七(酢蜜柑), 文旦, ブロッコリー, オクラ, きびなご
	土佐清水市	ソウダカツオ(メジカ), 清水サバ, 足摺四万十鱧, カツオ, 赤玉ねぎ(足摺レッド)
	四万十市	ぶしゅかん, 四万十農法米, 栗, 青のり(スジアオノリ), 桧
	大月町	イチゴ, ナス, シシトウ, クロマグロ(養殖), ぶり
	三原村	米, トマト, 柚子, しいたけ
	黒潮町	カツオ, きゅうり, ニラ, ミョウガ, しめじ

(資料) 各市町村への照会により作成。

図表 II-15 第1次産業を核とした地域産業クラスターに関する取組の状況

地域	市町村	プロジェクト名称	取組概要
圏域全体	—	加工業務用野菜の産地化プロジェクト	需要が増加傾向にある「加工・業務用野菜」の産地化をすすめる、マーケットイン型の商品開発や「生産・加工・流通・販売」までの新たな仕組みの構築に取り組む。
		林業・木材産業クラスタープロジェクト	木材加工を核として、木材生産から販売・再生産までの好循環を生み出す。
高知市	—	竹資源の活用による中山間地域の新たな産業の創出	県産竹材を活用した製品加工の拡大とともに、竹材の集荷や一次加工、竹チップの販売など竹資源を活用した新たな事業展開を図る。
—	高知市・須崎市・土佐市	中央地域広域クラスタープロジェクト	ブランド養殖魚の産地機能と、弘化台周辺の集荷・加工機能を生かしたクラスターの形成を図る。
安芸地域	奈半利町	奈半利町の集落活動センターを中心としたクラスター	農水産物加工施設や新設する集落活動センターを拠点として、奈半利ブランドの確立と地域の所得向上につなげる。
物部川地域	南国市	南国市還元野菜プロジェクト	JA 出資型法人「南国スタイル」を中心として、「還元野菜 ^(注1) 」の生産拡大を図るとともに、関連する直販所や農園レストラン等と連携した還元野菜販売や、メニュー提案等を実施することにより、還元野菜の里づくりを目指す
	香南市・香美市	日本一のニラ産地拡大プロジェクト	日本一の生産量を誇る JA 土佐香美の生産拡大を目指し、3つの生産拡大プロジェクトに取り組むとともに、食品関連会社等の誘致を視野に入れての新たな加工品の開発、地元飲食店でのメニュー開発等により、クラスター化を目指す
嶺北地域	全域	嶺北畜産クラスターによる地域の活性化	「土佐あかうし」「大川黒牛」「土佐はちきん地鶏」のさらなる生産拡大と6次産業化による付加価値の向上を図る。また、さめうら湖や山岳資源を活用したスポーツツーリズムにより観光振興・交流人口の拡大を図りながら、レストラン事業の展開も検討する。
		嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化	嶺北地域の豊富な森林資源を余すところなく活用し、地域経済の活性化につなげる。
仁淀川地域	日高村	日高村トマト生産拡大プロジェクト	日高トマト生産団地の拡大の取り組みを核として、中山間複合経営拠点 ^(注2) の整備とも併せ、関連する JA 出荷場、農産物加工施設、直販所、地元レストラン等が連携し、クラスター化を目指す。
	仁淀川町	仁淀川町の(株)フードプランを中心としたカット野菜事業クラスター	県内産野菜のさらなる活用のため、契約栽培を行う集落営農組織等を仁淀川流域はもとより県内に拡大するとともに、カット野菜加工施設の規模拡大に向けた安定的な原材料の調達を進める。
	佐川町	佐川町で展開する自伐型林業での木材産業クラスター	林業の原木等の素材生産や農業生産を行う企業を新たに設立し、自伐型林業の担い手を育成・確保する。また、別途立ち上げる NPO 法人において起業家を育成するとともに、町内製材所や集落活動センターと連携してものづくりを実践する。

地域	市町村	プロジェクト名称	取組概要
高幡地域	四万十町	四万十次世代モデルプロジェクト	次世代施設園芸団地でのトマト生産を核として、バイオマス供給施設、種苗供給施設、農産品加工・販売業者、地元レストラン等が連携し、クラスター化を目指す。
		四万十ポークブランド推進プロジェクト	養豚農家の生産基盤の強化を図るとともに、関係機関が連携し安心安全な四万十ポークを消費者に安定供給できる体制を構築し、新たな6次産業化ビジネスの展開とあわせて地域の所得向上につなげる。
幡多地域	全域	幡多地域広域クラスタープロジェクト	養殖魚やメジカ加工ビジネスを核とする生産から加工・流通に至る幡多地域での広域産業クラスターの形成を図る。

(注1) 電解水素水を使って栽培した野菜のこと。電解水素水は、葉菜類で生育促進効果(収量5～20%UP)があり、さらに葉菜類、果菜類等で抗酸化機能等の機能性成分向上効果を確認。

(注2) 出資型法人等が、高収益の施設園芸や中山間地域に適した農産物の生産、作業受託による地域営農の維持活動等、複合経営を行い、中山間地域の農業の競争力を高め、支える仕組み。

(資料) 高知県資料

(3) 製造業

2014（平成 26）年における業種別の従業者構成比で製造業の構造をみると、圏域全体では食料品製造業、パルプ・紙・紙加工品製造業、生産用機械器具製造業における構成比が大きくなっており、特に食料品製造業では 2 割を超えている。

地域別では、嶺北地域除いて食料品製造業の構成比が大きいほか、製造業の就業者数構成比が大きい物部川地域では生産用機械器具が約 2 割、電子部品・デバイス・電子回路製造業が約 1 割であり、仁淀川地域ではパルプ・紙・紙加工品製造業が約 4 割にのぼる。また、嶺北地域と高幡地域では、木材・木製品と窯業・土石製品製造業の構成比が比較的大きい。

圏域における主な 2 次産業產品には、農水産物を活用した加工食品や、皿鉢料理、田舎寿司等の郷土料理のほか、和紙、紙加工品、打刃物、木製品・木工品等の地場産業產品、室戸海洋深層水等がある。

圏域における製造品出荷額等は、2009（平成 21）年で大きく落ちこんだものの、2011（平成 23）年には増加に転じて以降増加を続けており、特に機械器具製造業で増加している。また、従業者数がほとんどの地域で減少している中、幡多地域では増加しており、繊維工業及び電気機械器具製造業での増加が寄与している。

多くの地域で一定の集積があり、製造品出荷額等の規模も比較的大きい食料品製造業は、圏域内で一定の就業者規模をもつ農業とつながりが強いいため、地産地消はもちろんのこと、6 次産業化やブランド化により外貨を獲得できる産業に育成することが求められる。

また、食料品以外で圏域の強みや特徴となり得るパルプ・紙・紙加工品製造業や、機械器具製造業についても、地域経済をけん引する産業として規模の維持・拡大を図ることが望ましい。

図表 II-16 製造業の業種別従業者数の構成比（地域別・2014（平成 26）年）

（単位：人）

業種	圏域計	高知市	安芸地域	物部川地域	嶺北地域	仁淀川地域	高幡地域	幡多地域
総数	23,697	7,128	1,273	6,265	443	3,740	2,320	2,528
食料品製造業	23.3%	33.7%	23.3%	11.5%	6.3%	15.4%	20.8%	39.9%
飲料・飼料・たばこ製造業	2.5%	1.1%	23.7%	0.5%	4.1%	2.0%	3.4%	0.4%
繊維工業	6.3%	1.3%	8.5%	5.3%	39.7%	8.4%	6.6%	13.0%
木材・木製品製造業	4.2%	2.4%	6.0%	1.5%	27.8%	4.6%	11.3%	3.5%
家具・装備品製造業	1.2%	1.2%	0.0%	1.6%	1.1%	0.3%	0.8%	2.1%
パルプ・紙・紙加工品製造業	10.2%	5.9%	6.0%	4.7%	0.0%	43.1%	0.3%	0.0%
印刷・同関連業	3.2%	6.7%	0.4%	2.3%	1.4%	2.1%	0.6%	1.8%
化学工業	1.0%	1.7%	2.3%	0.4%	0.0%	0.2%	0.0%	2.5%
石油製品・石炭製品	0.2%	0.6%	0.0%	0.1%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%
プラスチック製品製造業	2.4%	1.6%	0.0%	4.9%	0.0%	1.5%	1.2%	2.8%
ゴム製品製造業	-	-	-	-	-	-	-	-
なめし革・同製品・毛皮製造業	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%
窯業・土石製品製造業	6.1%	3.0%	8.2%	4.2%	11.1%	5.2%	19.3%	6.8%
鉄鋼業	3.5%	8.8%	8.2%	1.2%	0.0%	0.1%	0.9%	0.0%
非鉄金属製造業	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%
金属製品製造業	3.7%	4.3%	1.3%	4.3%	5.4%	2.9%	2.2%	3.6%
はん用機械器具製造業	3.0%	3.6%	8.0%	5.2%	3.2%	0.0%	0.2%	0.2%
生産用機械器具製造業	11.1%	9.2%	0.0%	22.9%	0.0%	2.7%	12.6%	6.2%
業務用機械器具製造業	1.9%	1.6%	0.0%	4.4%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%
電子部品・デバイス・電子回路製造業	4.3%	1.1%	0.0%	11.6%	0.0%	3.5%	0.6%	3.1%
電気機械器具製造業	2.8%	0.9%	0.3%	1.4%	0.0%	7.3%	1.7%	8.0%
情報通信機械器具製造業	-	-	-	-	-	-	-	-
輸送用機械器具製造業	4.4%	8.7%	1.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.5%	4.2%
その他の製造業	3.7%	2.7%	2.9%	7.3%	0.0%	0.5%	4.8%	1.8%

（注）グレーの網掛けは就業者数の構成比が 10%以上の産業。

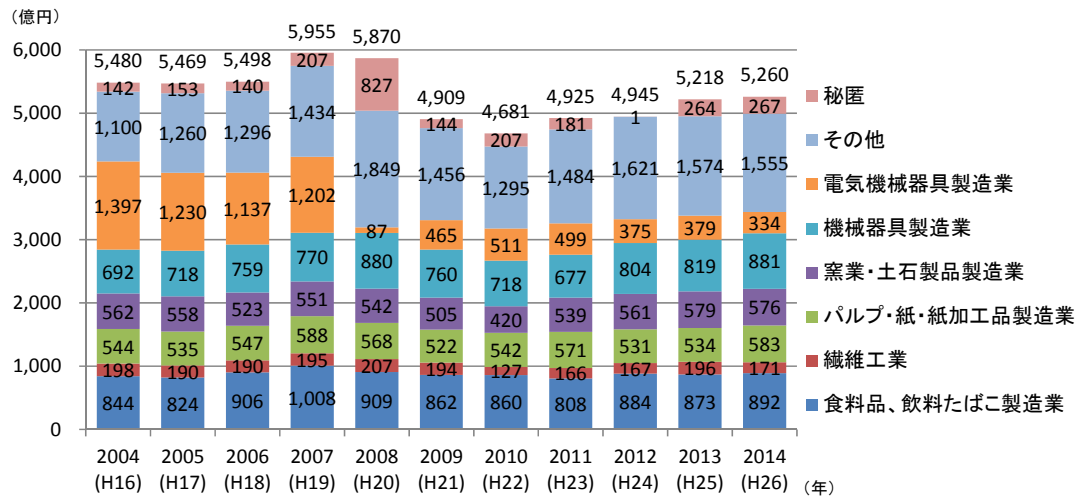
（資料）経済産業省「工業統計」

図表 II-17 圏域における主な2次産業産品

地域	市町村	2次産業産品
高知市	高知市	皿鉢料理, 石灰石, 紙加工品, 宝石珊瑚, 油圧機械
安芸	室戸市	室戸海洋深層水, 土佐備長炭, 塩干品, 水産練製品, 鍛造品
	安芸市	芋ケンピ, ちりめんじゃこ, 陶芸品, 土佐瓦, 土佐の清酒
	東洋町	こけら寿司
	奈半利町	船舶, 塩干品, 皿鉢料理, 田舎寿司, 味噌
	田野町	アイスクリン, 塩干品, 皿鉢料理, 土佐の清酒, 天日塩
	安田町	土佐の清酒, 土佐の焼酎, 土佐の名水, 田舎寿司, 塩干品
	北川村	柚子加工品(飲料水含む), 田舎寿司, かんばもち(芋の餅)
	馬路村	柚子加工食品, 木製品, 木工品, 化粧品
	芸西村	黒砂糖, 木質ペレット
物部川	南国市	農器具部品, 猟銃, 電子部品, 土佐打刃物, ちりめんじゃこ
	香南市	ちりめんじゃこ, 水産練製品, 土佐の清酒, 工作機械, 鋳造品・鋳鋼品
	香美市	土佐打刃物, フラフ・のぼり, 木工品, 土佐瓦, 猟銃部品
嶺北	本山町	木レース等の木工製品, 柚子加工品, しそ加工品, 米焼酎, 濁酒
	大豊町	碁石茶, 柚子飲料, どぶろく, 製材製品, 柚子製品
	土佐町	田舎寿司, 皿鉢料理, 土佐の清酒, 木工品, 柚子飲料
	大川村	木工品
仁淀川	土佐市	土佐和紙, 紙製品, 土佐の地酒, ウツボのたたき, 鰹節
	いの町	手すき和紙, 機械抄き紙, 不織布, 土佐の清酒, 氷菓
	仁淀川町	石灰石, 土佐和紙, 木工品
	佐川町	土佐の清酒(司牡丹), デジタルによるものづくり, 土佐瓦, 山椒餅
	越知町	芋ケンピ, 柚子飲料
	日高村	機械抄き紙, 紙加工品, 芋ケンピ, トマト加工品, オムライス
高幡	須崎市	鍋焼きラーメン, 石灰石, 土佐打刃物, 竹加工品
	中土佐町	カツオのたたき, 精密機械器具, 土佐の清酒, 土佐の名水, 産物加工
	梶原町	皿鉢料理, 木質ペレット, 猟銃部品
	津野町	田舎寿司, 満天の星大福, 精密機械器具, 土佐の名水, 津野山ビール
	四万十町	田舎寿司, 皿鉢料理, 集成材, 土佐の焼酎, 土佐の清酒
幡多	宿毛市	宝石珊瑚, 木質ペレット, 水産練製品, 土佐の焼酎, 塩干品
	土佐清水市	宗田節, 姫カツオ, ちりめんじゃこ, カツオのたたき, 水産練製品
	四万十市	ぶしゅかん加工品, 水産練製品, 柚子加工品, 田舎寿司, 皿鉢料理
	大月町	塩干品, 海藻加工品, 水産練製品, 土佐備長炭, 宝石珊瑚
	三原村	皿鉢料理, 田舎寿司, 柚子飲料, 硯
	黒潮町	天日塩, 黒砂糖, ジーンズ, カツオのたたき, 和紙の手漉き製紙

(資料)各市町村への照会により作成。

図表 II-18 製造業の産業別製造品出荷額等の推移



(注1) 産業分類が改訂されているため、2004年の産業分類に合わせて産業分類を統合している。
(注2) 秘匿業種があるため、合計から公表業種の値を引いたものを「秘匿」として表示している。
(注3) 2008(平成20)年のみ、「電気機械器具製造業」に含まれる「電子部品・デバイス・電子回路製造業」の値が秘匿されている。
(資料) 経済産業省「工業統計」

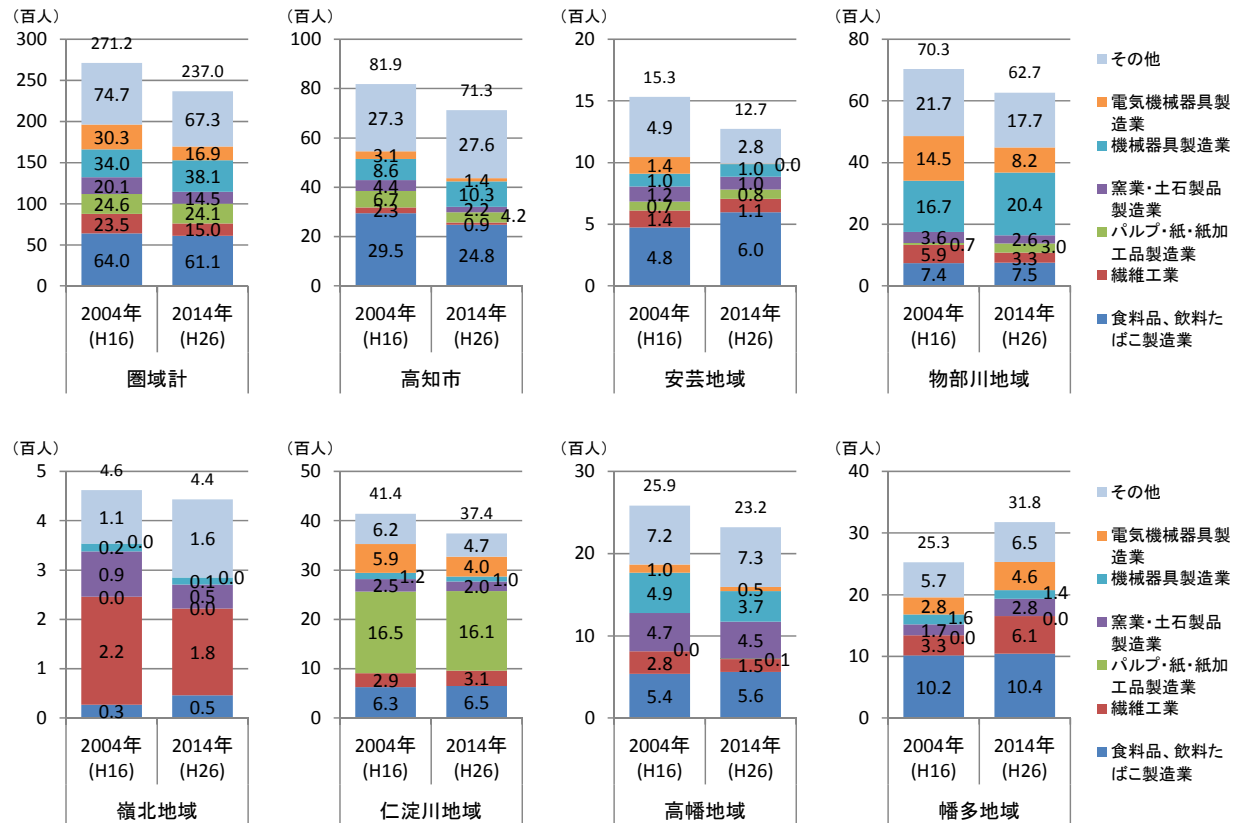
図表 II-19 製造業の業種別従業者数の増減数(地域別・2004(平成16)年→2014(平成26)

年)

(単位:人)								
業種	圏域計	高知市	安芸地域	物部川地域	嶺北地域	仁淀川地域	高幡地域	幡多地域
総数	-3,422	-1,059	-260	-766	-19	-403	-265	-650
食料品、飲料たばこ製造業	-295	-470	123	10	19	24	24	-25
繊維工業	-845	-140	-30	-252	-43	27	-121	-286
木材・木製品製造業	-461	-1	-114	-77	22	-56	-150	-85
家具・装備品製造業	-131	-40	-9	-60	5	-15	-12	0
パルプ・紙・紙加工品製造業	-42	-243	5	229	0	-41	8	0
印刷・同関連業	-292	-187	-9	32	-1	-67	-49	-11
化学工業	-38	-2	-57	14	0	-1	0	8
石油製品・石炭製品	26	28	0	-2	0	0	0	0
プラスチック製品製造業	-60	-71	0	-51	0	41	-10	31
ゴム製品製造業	-	-	-	-	-	-	-	-
なめし革・同製品・毛皮製造業	-55	0	0	0	0	-12	-24	-12
窯業・土石製品製造業	-565	-224	-18	-97	-43	-59	-17	-107
鉄鋼業	117	39	30	35	0	0	13	0
非鉄金属製造業	138	0	0	-61	0	0	210	-11
金属製品製造業	-120	-42	-4	-36	24	-19	41	-84
機械器具製造業	414	164	-1	371	-2	-23	-119	24
電気機械器具製造業	-1,342	-170	-133	-632	0	-183	-48	-176
輸送用機械器具製造業	298	311	-9	-78	0	-9	-5	88
その他の製造業	-169	-4	-34	-111	0	-10	-6	-4

(注) 産業分類が改訂されているため、2004年の産業分類に合わせて2014年の産業分類を統合したうえで、増減を計算している。
(資料) 経済産業省「工業統計」

図表 II-20 製造業の主要業種別従業者数の変化(地域別)



(注1) 産業分類が改訂されているため、2004年の産業分類に合わせて2014年の産業分類を統合している。

(注2) 2014年の圏域計で構成比が5%以上の業種を含むものを主要業種とし、それ以外の業種を「その他」として束ねている。

(注3) 100人未満は値ラベルの表示を省略している。

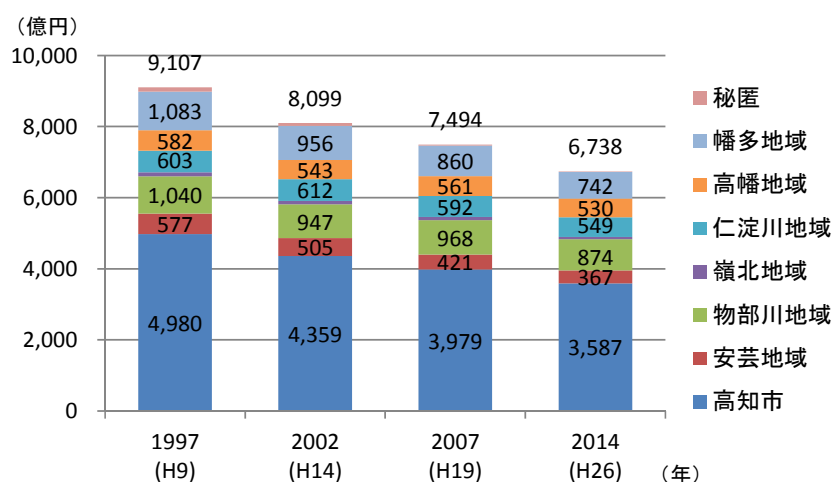
(資料) 経済産業省「工業統計」

(4) 小売業

小売業の売場面積が 2007（平成 19）年まで拡大していた一方で、年間商品販売額は 1997（平成 9）年以降減少を続けており、2014（平成 26）年には、売場面積も大きく縮小した。人口減少が進行している地域では、それに伴い商業が衰退することが予想されるため、生活に欠かせない小売業を維持するための取組が必要になると考えられる。

一方で、同様に年間商品販売額や売場面積の減少は見られるものの、百貨店をはじめとする大型の商業施設が集積し、かつ県内他地域や県外からの来訪者が多い高知市は、マーケットとしてのポテンシャルを有すると言えるため、高知市の商業基盤を活用し、他地域産品の販売拡大につなげることが期待できる。

図表 II-21 地域別小売業の年間商品販売額の推移

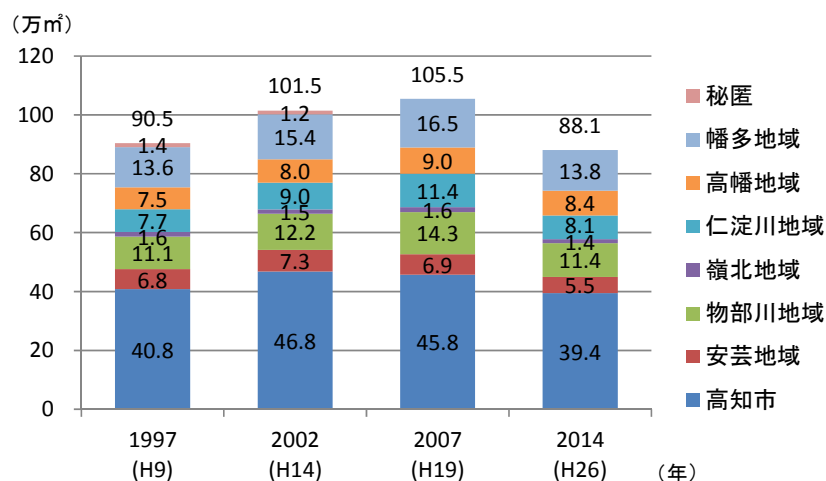


(注1) 秘匿町村があるため、合計から公表市町村の値を引いたものを「秘匿」として表示している。

(注2) 300 億円未満は値ラベルの表示を省略している。

(資料) 経済産業省「商業統計」

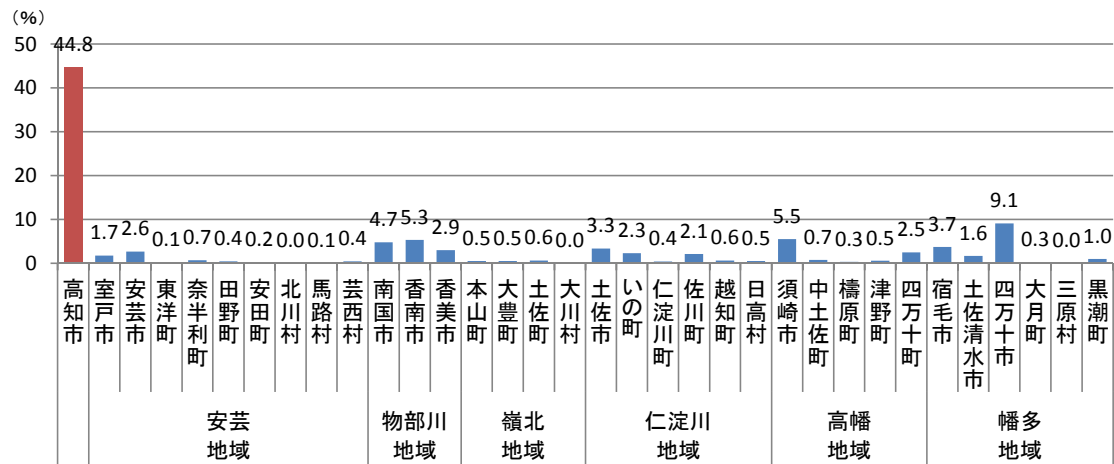
図表 II-22 地域別小売業の売場面積の推移



(注) 秘匿町村があるため、合計から公表市町村の値を引いたものを「秘匿」として表示している。

(資料) 経済産業省「商業統計」

図表 II-23 県全体の売場面積に占める市町村別売場面積の構成比(2014(平成 26)年)



(資料) 経済産業省「商業統計」

図表 II-24 主な大型商業施設(店舗面積 5,000 m²以上)

所在地	店舗名	売場面積 (m ²)
高知市	イオンモール高知(イオン高知店)	47,476 m ²
	高知大丸本館・東館	14,613 m ²
	フジグラン高知	14,360 m ²
	イオン高知旭町店	13,217 m ²
	高知パワーセンター(スポーツデポ高知店)	11,015 m ²
	フジグラン葛島	10,868 m ²
	Shimadaya HOME&LIFE 高知店	7,267 m ²
	ヤマダ電機テックランド New 高知本店	6,988 m ²
	コンピュータタウンこうち, ちより街テラス	5,585 m ²
	DCM ダイキ御座店	5,570 m ²
	ニトリ高知店	5,317 m ²
	ニトリ土佐道路店(開店予定)	5,132 m ²
南国市	マルナカ南国店食彩館 B	6,147 m ²
	サニーアクシス南国店	5,883 m ²
土佐市	ダイソー・シマダヤ土佐店	6,065 m ²
須崎市	マルナカ須崎店	8,002 m ²
	フジ須崎店	5,874 m ²
	須崎ショッピングセンター(須崎スーパーストアゆたか店)	5,718 m ²
四万十市	フジグラン四万十	10,491 m ²
	マルナカ四万十店	8,127 m ²
	サニータウン四万十(ホームセンターマルニ ケスト古津賀店)	7,600 m ²
香南市	フジグラン野市	11,435 m ²
いの町	サニーアクシスいの店	8,110 m ²

(資料) 東洋経済新報社「全国大型小売店総覧 2017」

(5) 観光

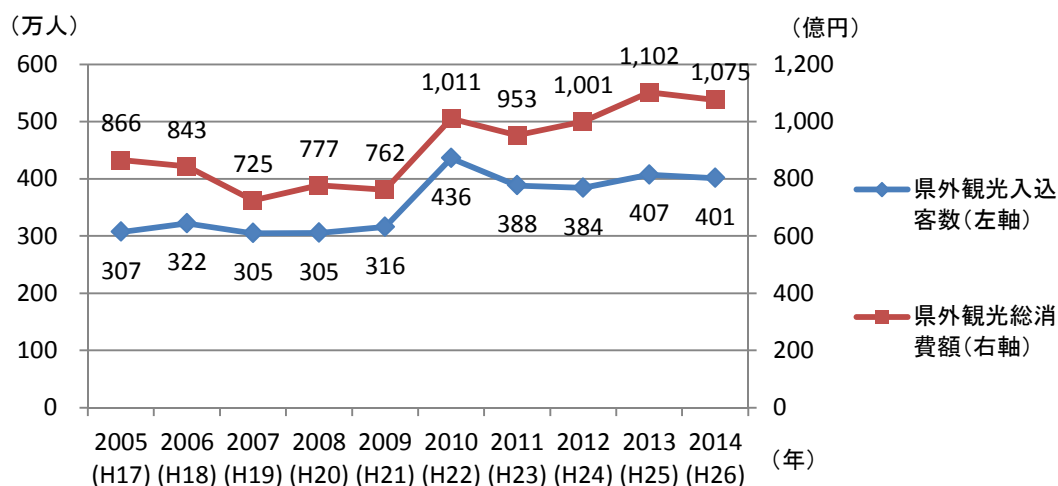
圏域における県外からの観光入込客数は、NHK 大河ドラマ「龍馬伝」の放送や土佐・龍馬であい博」の開催、高速道路の割引等の効果もあり、2010（平成 22）年には前年を約 120 万人上回る勢いで増加するとともに 400 万人観光を実現し、県外観光総消費額は 1 千億円を超えた。2011（平成 23）年には、その反動で減少に転じたものの、2009（平成 21）年以前を大きく上回る水準で推移しており、2013（平成 25）年以降は再び 400 万人台となっている。

また、観光施設利用実績の推移も、概ね観光入込客数と同様の傾向を示している。地域別では、高知市に立地する施設の利用者数が最も多いが、物部川地域における利用者も比較的多く、それ以外の地域でも比較的大きな増加が見られる年次がある。

観光客の出発地の地域ブロック別構成比を見ると、四国や近畿などの近場が半分以上を占めているが、近年は関東の割合もやや大きくなっているほか、宿泊客では、2 泊以上滞在する観光客の割合がやや拡大している。

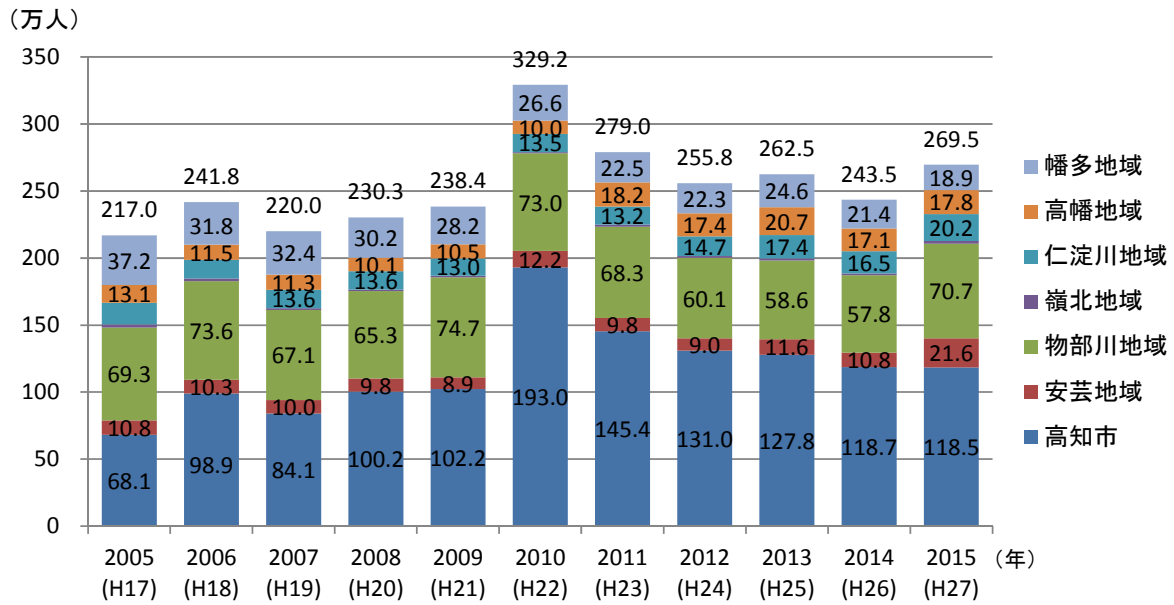
魅力的な資源の発掘・創出及び活用や、それらの効果的な PR を行うことで、高知市以外の地域に観光客を誘導することも十分可能であり、また、広域観光の場合は滞在時間が長くなり、宿泊が伴うことも予想される。さらに、外国人観光客のさらなる増加や、リピーターによる地方観光の増加など、ますますの観光需要が見込まれる。そのため、圏域全体で、情報発信や受け入れ体制の整備に取り組むことで、外貨獲得の機会をしっかりと捉えることが求められる。

図表 II-25 県外からの観光入込客数及び県外観光客の総消費額の推移



(資料) 高知県「県外観光客入込・動態調査報告書」

図表 II-26 観光施設利用実績の推移

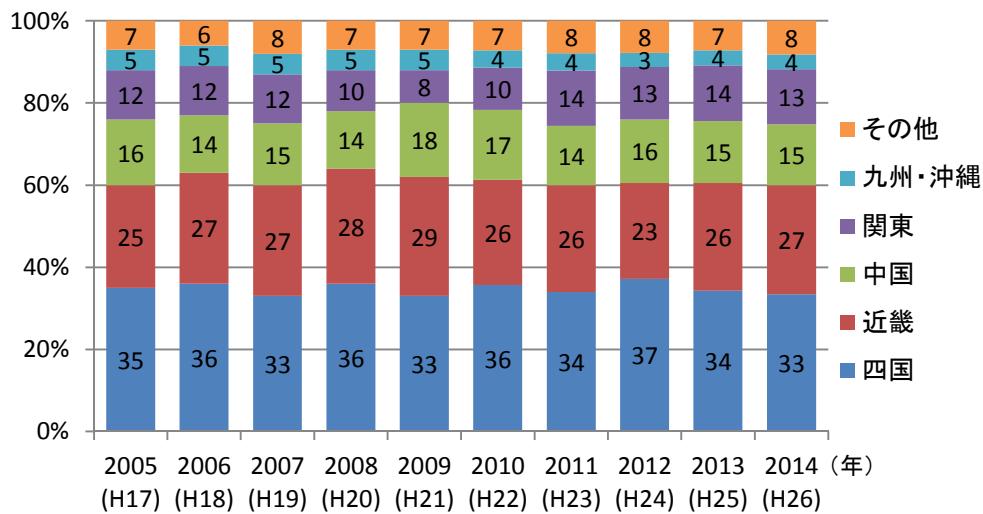


(注1) 観光施設における利用者数を集計したものであり、観光入込客数とは一致しない。

(注2) 5万人未満は値ラベルの表示を省略している。

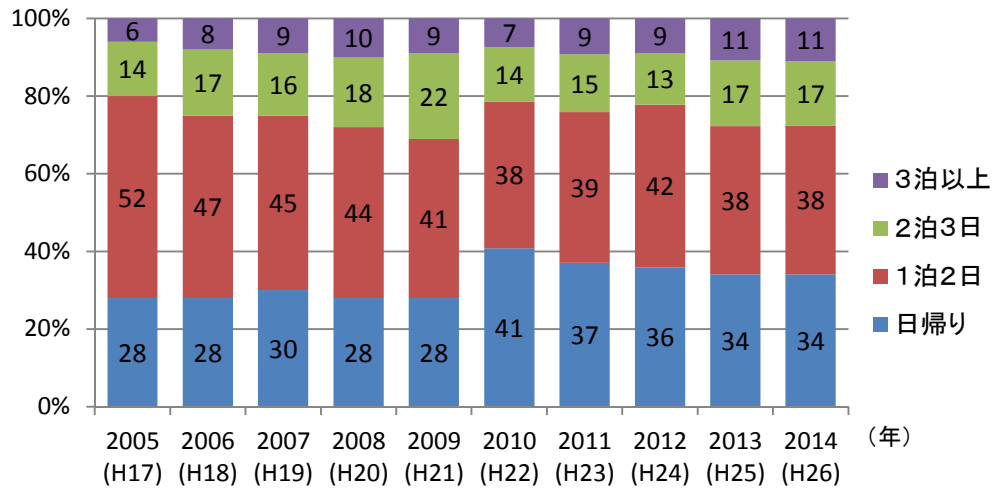
(資料) 高知県「県外観光客入込・動態調査報告書」

図表 II-27 発地ブロック別県外観光入込客数構成比の推移



(資料) 高知県「県外観光客入込・動態調査報告書」

図表 II-28 日帰り／宿泊別県外観光入込客数構成比の推移



(資料) 高知県「県外観光客入込・動態調査報告書」

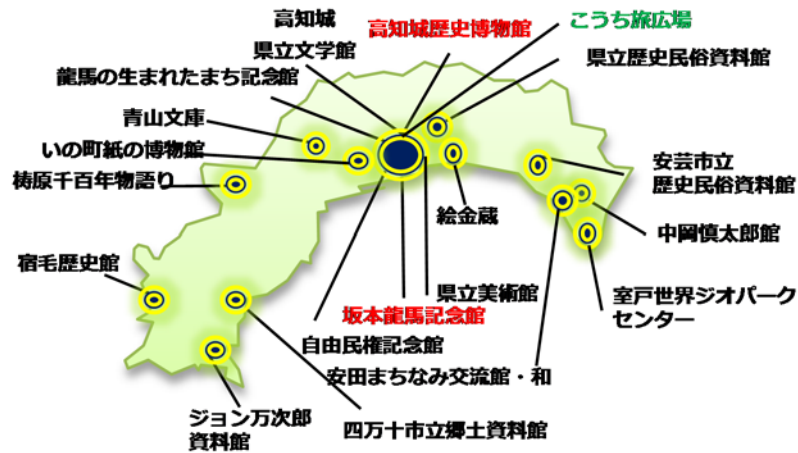
図表 II-29 圏域内の主要な観光資源

地域	市町村	観光資源
高知市	高知市	高知城, 街路市, 桂浜, はりまや橋, 路面電車
安芸	室戸市	室戸世界ジオパーク, 室戸市吉良川町伝統的建造物群保存地区, 室戸岬灯台, だるま朝日・だるま夕日, 四国八十八箇所霊場と遍路道
	安芸市	野良時計, 岩崎弥太郎生家, 土居廓中(武家屋敷), 伊尾木洞, 童謡の里
	東洋町	白浜海水浴場, 生見サーフィンビーチ, 野根川
	奈半利町	サンゴ礁, 奈半利町伝統的建造物群, 野根山街道, ふるさと海岸, 琵琶ヶ滝
	田野町	だるま朝日・だるま夕日, 岡御殿温泉, 二十三土公園, 森林鉄道
	安田町	四国八十八箇所霊場と遍路道, 魚梁瀬森林鉄道遺構, ごめん・なはり線, 高知の山里, だるま朝日・だるま夕日
	北川村	中岡慎太郎館, モネの庭マルモッタン, 森林鉄道, 野根山街道, お弓祭り
	馬路村	千本山, 朝日出の大杉, 旧魚梁瀬森林鉄道施設, 安田川, 馬路温泉
	芸西村	琴ヶ浜松原, メランジュ帯, 琴ヶ浜野外劇場, 伝承館, 旧末延邸堂医院
物部川	南国市	岡豊城跡, 路面電車, 土佐オナガドリ発祥の地, 西島園芸団地, 県立歴史民俗資料館
	香南市	どろめ祭り, 絵金, 弁天座, 手結住吉県立自然公園, ごめん・なはり線
	香美市	龍河洞, いざなぎ流, 轟の滝, べふ峡, アンパンマンミュージアム
嶺北	本山町	県立自然公園帰全山公園, 県立自然公園白髪山(白骨林と根下り桧), 工石山の紅廉石, 汗見川溪谷と枕状溶岩, 吉野川南岸地域の棚田景観
	大豊町	吉野川, 杉の大杉, ラフティング, 梶ヶ森, ゆとりすとパーク
	土佐町	高知の山里, 吉野川
	大川村	大座礼山, 平家平, 小金滝, 花取り太刀踊り

地域	市町村	観光資源
仁淀川	土佐市	五色の浜横浪メランジュ, 仁淀川, 大綱まつり, 鎌田井筋, 四国八十八箇所霊場と遍路道
	いの町	紙の博物館, 土佐和紙工芸村, グリーン・パークほどの, 道の駅木の香, 町道瓶ヶ森線(UFO ライン)
	仁淀川町	秋葉祭り, 土佐の神楽, 沈下橋, 仁淀川, 桜
	佐川町	酒蔵の町並み, 長谷溪谷(シャワークライミング), 牧野公園(牧野富太郎の植物), 青山文庫(江戸幕末期資料), 地質館
	越知町	高知の山里, コスモス祭り, 沈下橋, 仁淀川
	日高村	沈下橋, 屋形船・仁淀川, 猿田洞, 小村神社・国宝金銅荘環頭大刀, 調整池(フットパス)
高幡	須崎市	須崎市マスコットキャラクター「しんじょう君」, 二尺玉花火, 横浪黒潮ライン, 大谷のクスノキ, 上分大日如来座像
	中土佐町	大正町市場, 四万十川, 黒潮本陣・黒潮工房, 沈下橋, 風工房
	梶原町	土佐の神楽(津野山神楽), 坂本龍馬脱藩の道, 四国カルスト, 森林セラピー基地・ロード, 隅研吾施設群
	津野町	津野山古式神楽, 高野の舞台, 四国カルスト, 四万十川源流点, 風車(風力発電)
	四万十町	四国八十八箇所霊場と遍路道, 四万十川, 沈下橋, こいのぼりの川渡し, 花取り踊り
幡多	宿毛市	だるま夕日, はし拳, 四国八十八箇所霊場と遍路道, 足摺宇和海国立公園(沖の島, 鵜来島), 宿毛湾
	土佐清水市	足摺宇和海国立公園, 四国八十八箇所霊場と遍路道, 土佐清水市公認キャラクター宗田ぶっしー君, 唐人駄馬巨石群, ジンベエザメ
	四万十市	四万十川, 沈下橋, 菜の花祭り, 街路市, 高知の映画・ドラマ等のロケ地
	大月町	足摺宇和海国立公園, サンゴ礁, 四国八十八箇所霊場と遍路道, 宿毛湾, 風車(風力発電)
	三原村	おきやく, 高知の山里
	黒潮町	入野松原(国指定文化財), 田ノロ古墳(県指定文化財), ループトンネル(土佐くろしお鉄道), 入野海岸, 須賀留温泉

(資料)各市町村への照会により作成。

図表 II-30 歴史資源を核とした観光クラスターの形成



観光クラスターのイメージ図



(資料) 高知県資料

(6) 産業支援機関等の状況

圏域内には、工業や農林水産業など、専門分野の技術支援による産業振興を図る試験研究機関や、業種を問わず、中小企業等を支援する様々な機関が立地している。試験研究機関は、地場産業等に対応する形で、様々な地域に立地しているが、各種産業及び中小企業を対象とした支援機関は、高知市に集中している。

また、雇用促進や職業能力開発に関する機関は、高知市が多くなっているものの、各地域にも設置されている。

図表Ⅱ-31 産業支援機関等の状況

区分	分類	地域	施設・機関名 ※()は立地市町村名
産業振興・中小企業等支援施設及び機関	工業系試験研究機関	高知市	高知県工業技術センター
		安芸	高知県海洋深層水研究所(室戸市)
		仁淀川	高知県立紙産業技術センター(いの町)
	農林水産業系試験研究機関	高知市	高知県農業技術センター果樹試験場
		物部川	高知県農業技術センター(南国市)
			高知県農業技術センター研究企画課・生産環境課・作物園芸課(南国市)
			高知県病害虫防除所(南国市)
			高知県立森林技術センター(香美市)
			高知県内水面漁業センター(香美市)
		仁淀川	高知県農業技術センター茶業試験場(仁淀川町)
		高幡	高知県畜産試験場(佐川町)
			高知県水産試験場(須崎市)
			高知県水産試験場古満目分場(大月町)(H28/10/1開所)
	各種産業及び中小企業等支援機関	高知市	高知県事業承継・人材確保センター
			一般財団法人 高知県地産外商公社高知事務所
			公益社団法人 高知県貿易協会
			公益財団法人 高知県産業振興センター
			ジェトロ<日本貿易振興機構>高知
			高知県中小企業再生支援協議会
			高知県経営改善支援センター
			高知県中小企業団体中央会
			一般社団法人 高知県発明協会
			高知県産学官民連携センター
			高知大学
			高知県立大学
			高知工科大学
			公益財団法人 高知県牧野記念財団
		物部川	高知大学(南国市)
			高知工科大学(香美市)
			高知工業高等専門学校(南国市)
		全市町村	商工会議所及び商工会
	展示施設	高知市	高知ちばさんセンター
雇用促進・職業能力開発機関		高知市	高知県立高知高等技術学校
			ハローワーク高知
			ハローワークジョブセンターはりまや
			ハローワーク高知若者相談コーナー
			ジョブカフェこうち
			ポリテクセンター高知
			株式会社 高知ソフトウェアセンター
			高知県職業能力開発協会
		安芸	ひとり親家庭等就業・自立支援センター
			高知家の女性しごと相談室
		物部川	ハローワーク安芸(安芸市)
			高知県立林業学校(香美市)
			ハローワーク香美(香美市)
			株式会社 南国オフィスパークセンター(南国市)
		仁淀川	ポリテクカレッジ高知(香南市)
			高知県立農業大学校(いの町)
		高幡	ハローワークいの(いの町)
			高知県立農業担い手育成センター(四万十町)
		幡多	ハローワーク須崎(須崎市)
			高知県立中村高等技術学校(四万十市)
			ハローワーク四万十(四万十市)
		全市町村	ジョブカフェこうち幡多サテライト(四万十市)
			シルバー人材センター

(資料) 高知県資料

4. 高次都市機能の状況

(1) 行政機関

行政機関は高知市に立地しているものが多いが、管轄省庁によっては高知市以外の地域に関連機関を設置しているところもある。

図表 II-32 行政機関の立地状況

府省名	機関名
総務省	高知行政評価事務所
法務省	高知地方法務局 高知地方法務局各支局(安芸市, 香美市, 須崎市, 四万十市) 高知地方検察庁 高知地方検察庁各支部(安芸市, 須崎市, 四万十市) 高知刑務所 高知保護観察所 高知少年鑑別所 高松入国管理局高知出張所
財務省	神戸税関高知税関支署 神戸税関高知税関支署出張所(須崎市) 四国財務局高知財務事務所 各税務署(高知市, 安芸市, 南国市, いの町, 須崎市, 四万十市)
厚生労働省	高知労働局 各労働基準監督署(高知市, 安芸市, 須崎市, 四万十市) 各公共職業安定所(高知市, 安芸市, いの町, 須崎市, 四万十市) 高知公共職業安定所出張所(香美市) 広島検疫所高知出張所
農林水産省	四国森林管理局 各森林管理署(安芸市, 香美市, 本山町, 四万十市) 四万十川森林ふれあい推進センター(四万十市) 神戸植物防疫所坂出支所高知出張所 中四国農政局高知地域センター 中四国農政局高知地域センター支所(四万十市)
国土交通省	高知海上保安部 各海上保安署(宿毛市, 土佐清水市) 高知地方气象台 四国運輸局高知運輸支局本庁舎・大津庁舎 大阪航空局高知空港事務所 四国地方整備局各河川国道事務所(高知市, 四万十市, 宿毛市, 仁淀川町)
環境省	土佐清水自然保護官事務所(土佐清水市)
防衛省	自衛隊高知地方協力本部 陸上自衛隊高知駐屯地(香南市)
裁判所	高知地方裁判所 高知地方裁判所各支部(安芸市, 須崎市, 四万十市) 高知家庭裁判所 高知簡易裁判所 高知検察審査会
日本年金機構	四国ブロック本部 高知事務センター 各年金事務所(高知市, 南国市, 四万十市)

(注)所在地の記載がない機関は高知市に立地している。

(資料)高知県資料

(2) 医療機関

三次救急医療や周産期医療、小児救命救急医療等の高度医療については、高知医療センターと高知赤十字病院（高知市）及び高知大学医学部附属病院（南国市）がその機能を提供しており、二次救急医療施設が各地域の医療をカバーしている。

図表 II-33 医療機関の立地状況

■救急医療

種別	地域	市町村	機関名称
三次救急医療施設 (救命救急センター)	高知市	—	高知医療センター, 高知赤十字病院, 近森病院
二次救急医療施設 (救急告示病院・診療所)	高知市	高知市	愛宕病院, いずみの病院, 内田脳神経外科, 国吉病院, 高知医療センター, 高知生協病院, 高知整形・脳外科病院, 高知赤十字病院, 高知脳神経外科病院, 国立病院機構高知病院, 田中整形外科病院, 近森病院, 函南病院, 細木病院, 高知高須病院, もみのき病院, 地域医療機能推進機構高知西病院
		安芸市 田野町	あき総合病院, 森澤病院 田野病院
	物部川	南国市	高知大学医学部附属病院, JA高知病院, 南国中央病院, 南国厚生病院
		香南市	野市中央病院
		香美市	前田メディカルクリニック
	嶺北	本山町	嶺北中央病院
	仁淀川	土佐市	土佐市民病院
		いの町	仁淀病院, いの病院
		佐川町	高北国民健康保険病院, 清和病院
		越知町	北島病院, 前田病院, 山崎外科整形外科病院
	高幡	須崎市	須崎くろしお病院
		梶原町	梶原病院
		四万十町	くぼかわ病院
	幡多	宿毛市	幡多けんみん病院
		土佐清水市	渭南病院
		大月町	大月病院
二次救急医療施設 (病院群輪番制病院)	安芸	安芸市	あき総合病院, 森澤病院
		田野町	田野病院
	高幡	須崎市	高陵病院, 須崎くろしお病院
		梶原町	梶原病院
		四万十町	大西病院, くぼかわ病院
	幡多	宿毛市	大井田病院, 筒井病院, 幡多けんみん病院, 聖ヶ丘病院
		土佐清水市	渭南病院, 松谷病院
		四万十市	木俣病院, 四万十市立市民病院, 竹本病院, 幡多病院, 森下病院
		大月町	大月病院
休日夜間急患センター	高知市	高知市	休日夜間急患センター

■周産期医療

種別	地域	市町村	機関名称
総合周産期母子医療センター	高知市	—	高知医療センター
地域周産期母子医療センター	物部川	南国市	高知大学医学部附属病院

■小児救急医療

種別	地域	市町村	機関名称
入院小児救急医療機関 (小児科病院群輪番制病院)	高知市	—	高知医療センター, 高知赤十字病院, 国立病院機構高知病院
	物部川	南国市	高知大学医学部附属病院, JA高知病院
入院小児救急医療機関 (小児科医師対応の救急告示病院)	安芸	安芸市	あき総合病院
	幡多	宿毛市	幡多けんみん病院
小児救命救急医療機関	高知市	—	高知医療センター, 高知赤十字病院
	安芸	南国市	高知大学医学部附属病院
平日夜間小児急患センター	高知市	高知市	平日夜間小児急患センター

■災害医療

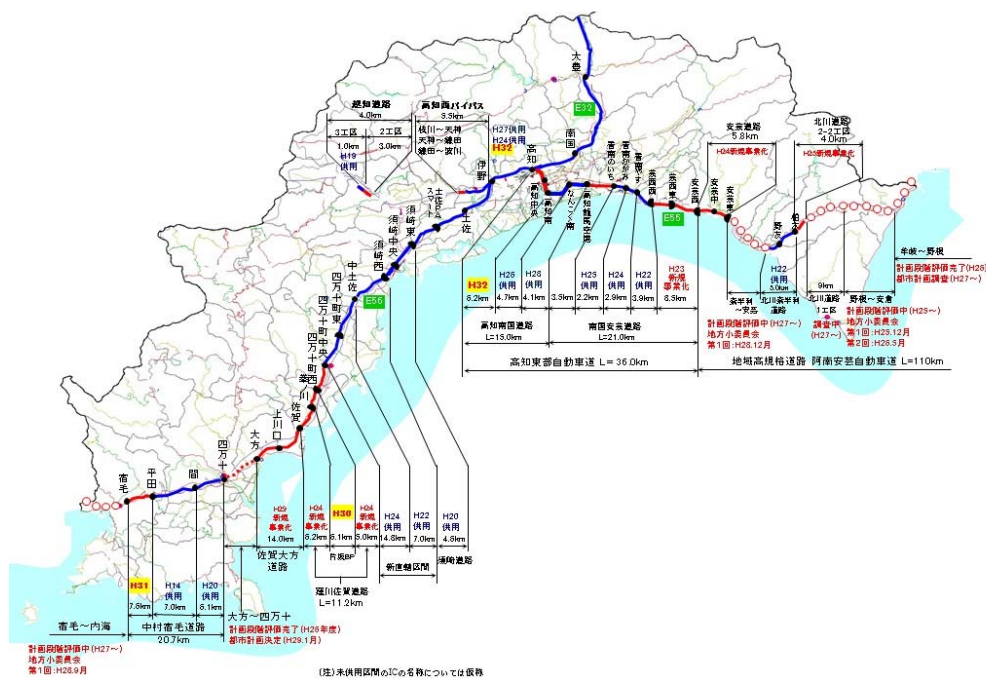
種別	地域	市町村	機関名称
広域的な災害拠点病院	高知市	—	高知医療センター, 高知赤十字病院
	物部川	南国市	高知大学医学部附属病院
災害拠点病院	高知市	—	近森病院, 国立病院機構高知病院
	安芸	安芸市	あき総合病院
	物部川	南国市	JA高知病院
	仁淀川	いの町	仁淀病院
	高幡	須崎市	須崎くろしお病院
	幡多	宿毛市	幡多けんみん病院

(資料) 高知県「第6期高知県保健医療計画」

(3) 広域的交通網

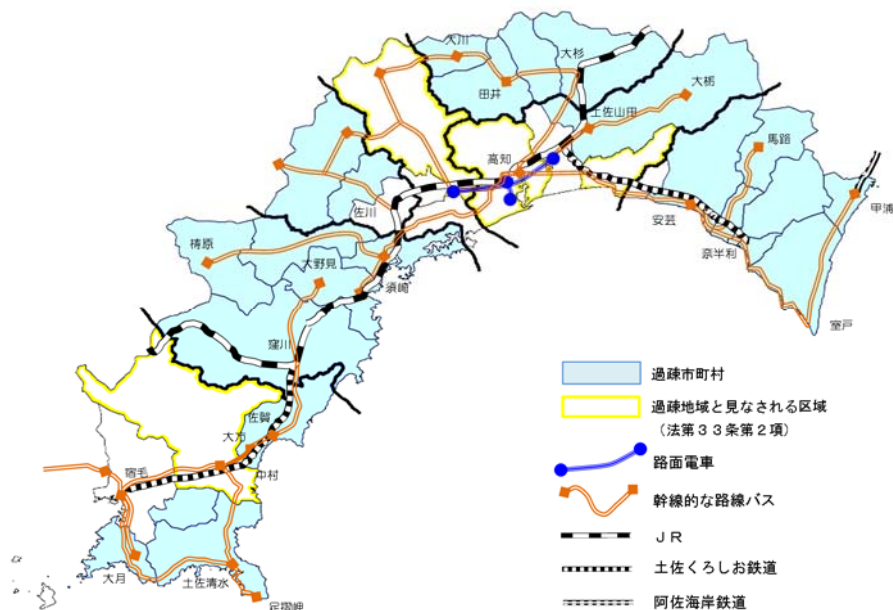
圏域内では、圏域を東西に結ぶ高規格道路の計画・整備が進められているものの、供用区間はまだ短く、かつ分断されている状況である。また、圏域を南北に結ぶ交通にも空白地帯が見られる。圏域住民の生活利便性の向上、圏域内外でのモノの流通や人の交流の促進のためには、高知市周辺に集積する高次都市機能への圏域全体からのアクセスを向上させる、広域交通ネットワークの早急な整備が求められる。

図表 II-34 高規格道路の整備状況



(資料)高知県資料

図表 II-35 広域公共交通の状況



(資料)高知県資料

(4) 高等教育機関

圏域内には、3つの大学と1つの短期大学が立地しており、大学院も含めると、約1万人の学生が在籍している。

地域活性化や産業振興のパートナーとなり得る大学等との交流・連携を積極的に推進するとともに、学生をはじめとする若者の知恵と力を活用した協働の推進や、地元企業への就職促進等による地域への定着を図り、将来の圏域活性化の担い手としての人材の確保・育成につなげることが求められる。

図表 II-36 大学の立地と学生数の状況(2016(平成 28)年)

(単位:人)

名称	所在地	学部・研究科	専攻	学生数
高知大学	高知市	人文社会学部		1,254
		教育学部		644
		理学部		1,146
		地域協働学部		127
		土佐さきがけプログラム		63
		総合人間自然科学研究科 修士課程	土佐さきがけプログラムグリーンサイエンス人材育成コース	2
			人文社会科学専攻	21
			教育学専攻	61
			理学専攻	101
			応用自然科学専攻	13
	南国市	医学部		961
		農林海洋科学部		752
		総合人間自然科学研究科 修士課程	医科学専攻	30
			看護学専攻	31
			農学専攻	99
		総合人間自然科学研究科 博士課程	医学専攻	122
			黒潮圏総合科学専攻	24
		医学系研究科 博士課程		17
	黒潮圏海洋科学研究科 博士課程		1	
	計			5,469
高知県立大学	高知市	学部	(学部は文化学部、看護学部、社会福祉学部、健康栄養学部の合計)	1,311
		大学院		91
	計			1,402
高知工科大学	香美市	システム工学群・環境理工学群・情報学群・工学部		1,576
		経済・マネジメント学群・マネジメント学部		583
		大学院		279
	計			2,438
高知学園短期大学	高知市	生活科学学科		125
		幼児保育学科		167
		医療衛生学科		236
		看護学科		221
	計			749
合計				10,058

(資料) 各大学ホームページ

(5) 文化・スポーツ等関連施設

圏域内に立地する主な文化施設（ホール等、美術館・博物館）及びスポーツ施設は、以下に示すとおりである。

図表 II-37 主な文化・スポーツ施設

都市機能	連携中枢都市(高知市)	連携市町村	
ホール等	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県立県民文化ホール ・高知市文化プラザ かるぽーと ・高知県立ふくし交流プラザ 	安芸	<ul style="list-style-type: none"> ・室戸市保健福祉センター やすらぎ(室戸市) ・安芸市民会館(安芸市) ・東洋町町民会館 大ホール(東洋町) ・東洋町地域福祉センター 多目的ホール(東洋町) ・田野町ふれあいセンター(田野町) ・安田町文化センター(安田町) ・北川村民会館(北川村) ・芸西村民会館(芸西村)
		物部川	<ul style="list-style-type: none"> ・弁天座(香南市) ・天然色劇場(香南市) ・のいちふれあいセンター サンホール(香南市) ・夜須中央公民館マリンホール(香南市)
		嶺北	<ul style="list-style-type: none"> ・本山町プラチナセンター(本山町)
		仁淀川	<ul style="list-style-type: none"> ・いのホール(いの町) ・いの町立伊野公民館(いの町) ・すこやかセンター伊野(いの町) ・いの町立吾北中央公民館(いの町) ・いの町立本川プラチナ交流センター(いの町) ・佐川町立 桜座(佐川町) ・越知町民会館(越知町)
		高幡	<ul style="list-style-type: none"> ・須崎市立市民文化会館(須崎市) ・ゆすはら座(梶原町) ・ゆすはら・夢・未来館(梶原町) ・津野町酒蔵ホール(津野町) ・津野町福祉交流センター(津野町) ・津野町総合保健福祉センター(津野町) ・窪川四万十会館(四万十町) ・きらら大正(四万十町)
		幡多	<ul style="list-style-type: none"> ・宿毛市総合社会福祉センター(宿毛市) ・宿毛市立宿毛文教センター(宿毛市) ・土佐清水市立市民文化会館(土佐清水市) ・土佐清水市立中央公民館(土佐清水市) ・四万十市立文化センター(四万十市) ・西土佐ふれあいホール(四万十市) ・農業構造改善センター(三原村) ・高知県立ふるさと総合センター(黒潮町) ・黒潮町立大方あかつき館(黒潮町)

都市機能	連携中枢都市(高知市)	連携市町村	
美術館・博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県立美術館 ・高知県立坂本竜馬記念館 ・高知市立自由民権記念館 	安芸	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅キラメッセ室戸・鯨館(室戸市) ・室戸海洋深層水アクアファーム(室戸市) ・室戸世界ジオパークセンター(室戸市) ・安芸市立歴史民俗資料館(安芸市) ・安芸市立書道美術館(安芸市) ・中岡慎太郎館(北川村) ・馬路村郷土館(馬路村) ・芸西村筒井美術館(芸西村) ・芸西村文化資料館(芸西村)
		物部川	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県立歴史民俗資料館(南国市) ・高知県立埋蔵文化財センター(南国市) ・絵金蔵(香南市) ・香美市立美術館(香美市) ・香美市立やなせたかし記念館 アンパンマンミュージアム(香美市) ・奥物部美術館(香美市)
		嶺北	<ul style="list-style-type: none"> ・大原富枝文学館(本山町)
		仁淀川	<ul style="list-style-type: none"> ・佐川町立青山文庫(佐川町) ・佐川地質館(佐川町) ・横倉山自然の森博物館(越知町) ・本の森図書館(越知町)
		高幡	<ul style="list-style-type: none"> ・まちかどギャラリー(須崎市) ・中土佐町立美術館(中土佐町) ・歴史民俗資料館 梶原千百年物語(梶原町) ・郷土資料館(津野町) ・吉村虎太郎邸(津野町)
		幡多	<ul style="list-style-type: none"> ・宿毛市立宿毛歴史館(宿毛市) ・ジョン万次郎資料館(土佐清水市) ・四万十市立郷土資料館(四万十市) ・四万十川学遊館(四万十市) ・黒潮町上林暁文学館(大方あかつき館内)(黒潮町)
スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県立県民体育館 ・高知県立春野総合運動公園 ・高知市総合運動場 ・高知市東部総合運動場 	安芸	<ul style="list-style-type: none"> ・室戸市中央公園(相撲場・テニス場・多目的グラウンド)(室戸市) ・室戸広域公園(野球場・屋内運動施設・アスレチック)(室戸市) ・高知県立室戸体育館(室戸市) ・室戸市勤労者体育センター(室戸市) ・安芸市営球場(安芸タイガース球場)(安芸市) ・安芸市多目的体育館(安芸ドーム)(安芸市) ・安芸市体育館(安芸市) ・奈半利港緑地公園グラウンド(奈半利町) ・田野町体育センター(田野町) ・中芸広域体育館(安田町) ・憩ヶ丘運動公園(芸西村)

都市機能	連携中枢都市(高知市)	連携市町村	
スポーツ 施設		物部川	<ul style="list-style-type: none"> ・南国市立スポーツセンター(南国市) ・南国市立三和スポーツ交流センター(南国市) ・南国市立吾岡山文化の森スポーツ広場(南国市) ・香南市サイクリングターミナル 海のやど しおや宿(香南市) ・高知県立青少年センター(香南市) ・香南市野市ふれあい広場(香南市) ・香南市野市総合体育館(香南市) ・香南市マリンスポーツ施設(シースポ)(香南市) ・土佐山田スタジアム(香美市) ・香北青少年の家周辺施設(香美市)
		嶺北	<ul style="list-style-type: none"> ・本山町吉野クライミングセンター(本山町) ・本山町寺家カヌー競技会場(本山町) ・本山町吉野運動公園(本山町) ・大豊町大杉農村広場(大豊町) ・大川村山村広場(大川村) ・白滝スポーツコミュニティセンター(大川村)
		仁淀川	<ul style="list-style-type: none"> ・土佐公園ランド(土佐市) ・土佐市立市民体育館(土佐市) ・いの町総合運動場(野球場・テニスコート)(いの町) ・吾北運動場(いの町) ・高知県立青少年体育館(いの町) ・いの町立伊野体育館(いの町) ・いの町立吾北体育館(いの町) ・スポーツパークさかわ(佐川町) ・佐川町民プール・テニスコート(佐川町) ・越知町民総合運動場(越知町) ・越知町民会館屋内運動場(越知町) ・日高村総合運動公園(日高村)
		高幡	<ul style="list-style-type: none"> ・須崎市立スポーツセンター(須崎市) ・須崎市立市民体育館(須崎市) ・大越ランド・体育館(梶原町) ・雲の上のプール(梶原町) ・津野町東津野B&G海洋センター・津野町西運動公園(津野町) ・津野町葉山運動公園(津野町) ・四万十町窪川運動場(四万十町) ・四万十町立大正体育館(四万十町) ・四万十町窪川B&G海洋センター(四万十町)

都市機能	連携中枢都市(高知市)	連携市町村	
スポーツ 施設		幡多	<ul style="list-style-type: none"> ・宿毛運動公園(宿毛市野球場)(宿毛市) ・和田体育館(宿毛市) ・宿毛市総合運動公園(宿毛市) ・宿毛市立平田公園(宿毛市) ・宿毛市立東部運動場(宿毛市) ・土佐清水市立市民体育館(土佐清水市) ・土佐清水市総合公園(土佐清水市) ・土佐清水市浦尻運動公園(土佐清水市) ・土佐清水市三崎運動公園(土佐清水市) ・土佐清水市下ノ加江運動広場(土佐清水市) ・安並運動公園(四万十市) ・四万十川下流交流センター(四万十市) ・四万十カヌーとキャンプの里かわらっこ(四万十市) ・四万十川の駅カヌー館(四万十市) ・大月町町民総合グラウンド(大月町) ・三原村ふれあい広場(三原村) ・高知県立土佐西南大規模公園(体育館・運動場)(黒潮町) ・大方球場(黒潮町)

(資料)各市町村への照会により作成。

5. 生活関連機能の状況

(1) 地域医療

主要診療科目別の医療施設従事医師数（5千人当たり）を地域別にみると、内科は比較的医師数が多いものの、多くの地域では圏域の平均（圏域計）を下回っている。また、小児科、産婦人科では、人口5千人当たり（産婦人科は女性人口5千人当たり）の医師数が1人を超えているのは物部川地域だけであり、嶺北地域と高幡地域には産婦人科医師がいない状況となっているため、特定の地域で不足している医療サービスを圏域全体で補い合うための環境の整備が求められる。

図表 II-38 主要診療科目別医療施設従事医師数(人口5千人当たり)

(単位:人)

	内 科	消化器内科 (胃腸内科)	小児科	精神科	外 科	整形外科	産婦人科 ^(注3)
圏域計	3.6	0.7	0.7	0.9	0.8	1.2	0.6
高知市	4.0	0.8	0.7	1.0	0.9	1.6	0.6
安芸地域	2.8	0.3	0.4	0.9	1.0	0.7	0.2
物部川地域	3.9	1.0	1.1	1.2	0.5	1.0	1.4
嶺北地域	4.3	－	0.4	0.4	0.8	0.4	－
仁淀川地域	3.2	0.2	0.2	0.6	0.8	0.9	0.2
高幡地域	3.3	0.2	0.3	0.4	0.8	0.9	－
幡多地域	3.1	0.6	0.8	0.6	0.6	0.8	0.6

(注1) 高知圏域における医療施設従事者数(従業地ベース)が100人以上の診療科及び産婦人科を抽出。

(注2) 医師が複数の診療科に従事している場合は主として従事する診療科でカウント。

(注3) 産婦人科のみ女性人口5千人あたりの値。

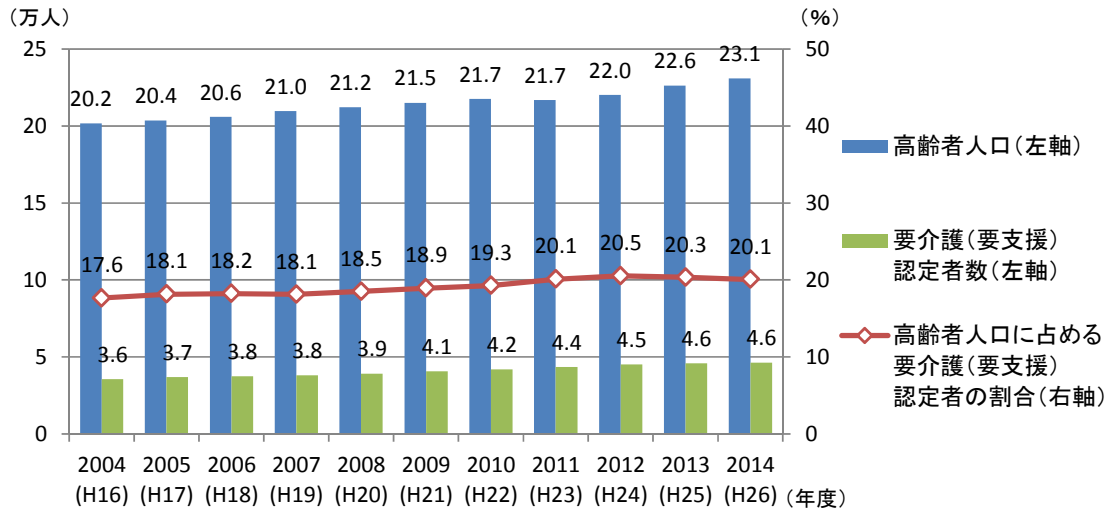
(資料) 厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」、国土地理協会「住民基本台帳人口要覧」

(2) 介護・障がい者福祉

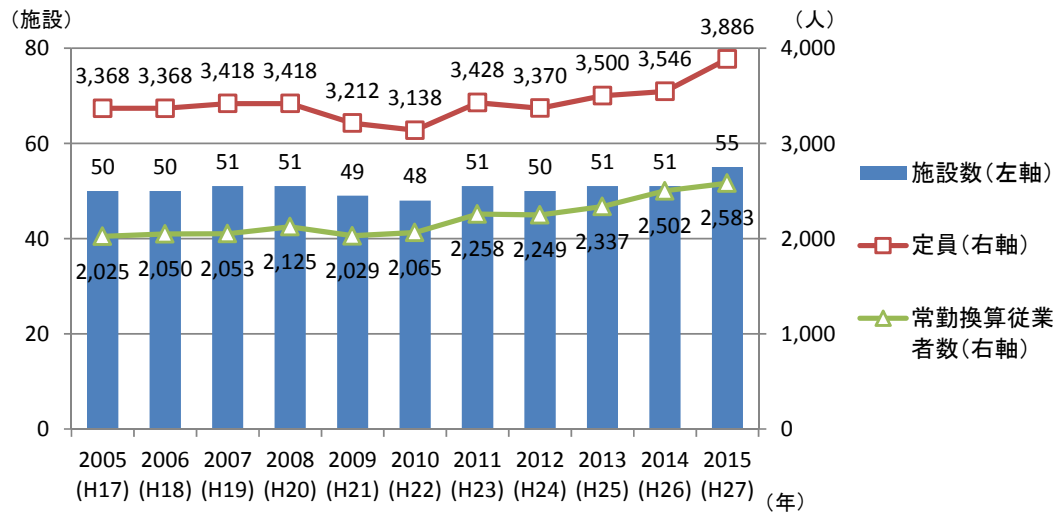
圏域内の高齢者人口は増加を続けており、高齢者人口に占める要介護（要支援）認定者の割合も、徐々に上昇しつつある。介護老人福祉施設の定員や職員は増加傾向にあるものの、今後の高齢化の進行により、要介護（要支援）認定者の増加が顕著になれば、介護の受け皿が不足する可能性も生じるため、圏域全体として、介護予防の取組による健康寿命の延伸や、介護が必要になった場合のサービスの確保を図っていくことが求められる。

障害者支援施設等については、近年施設数、在所者数とも概ね横ばいで推移しているが、今後も圏域内で必要に応じたサービスを維持することが求められる。

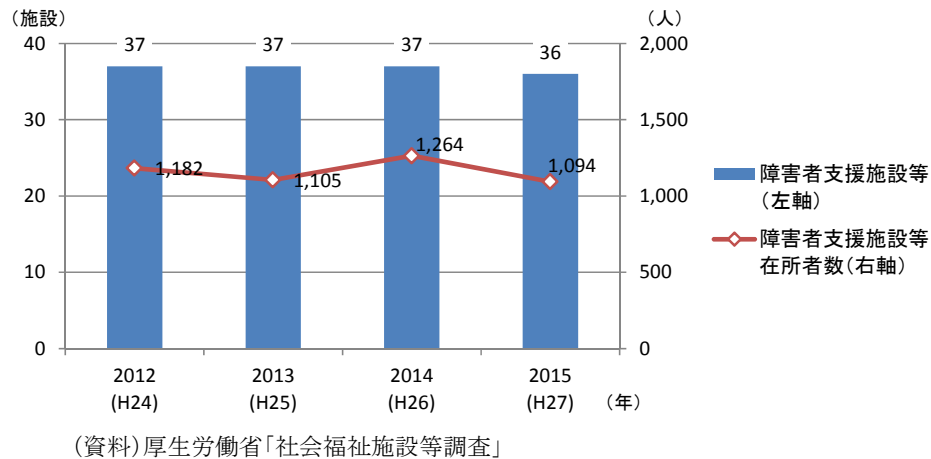
図表 II-39 介護を必要としている高齢者の割合



図表 II-40 介護老人福祉施設等の状況



図表 II-41 障害者支援施設等の状況



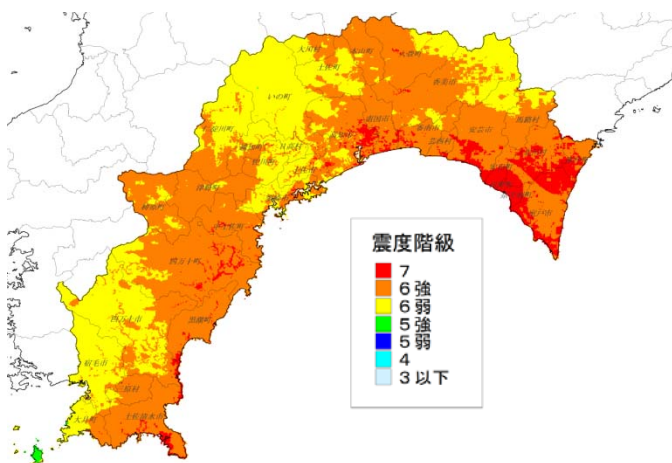
(3) 防災対策

30 年以内に 70% 程度の確率で発生している南海トラフ地震は、圏域にも大きな被害をもたらすことが想定されている。

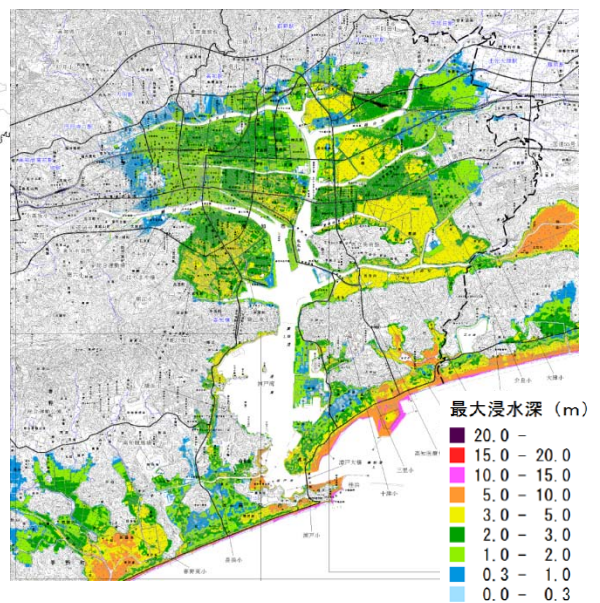
被害を最小限にするため、圏域内では、全ての市町村が相互に連携しながら、「命を守る」(被災前の防災対策)、「命をつなぐ」(被災直後の各種対応)、「生活を立ち上げる」(復興や暮らしの再建に向けた取組)の3段階で、各種の対策に取り組んでいる。また、災害発生時に拠点となる施設についても、圏域内の各所に配置されている。

図表 II-42 南海トラフ地震発生時の被害想定

〔震度分布図〕



〔津波浸水予測図 (高知市)〕



(注)「津波浸水予測図」については、全市町村分が高知県ホームページに掲載されている。

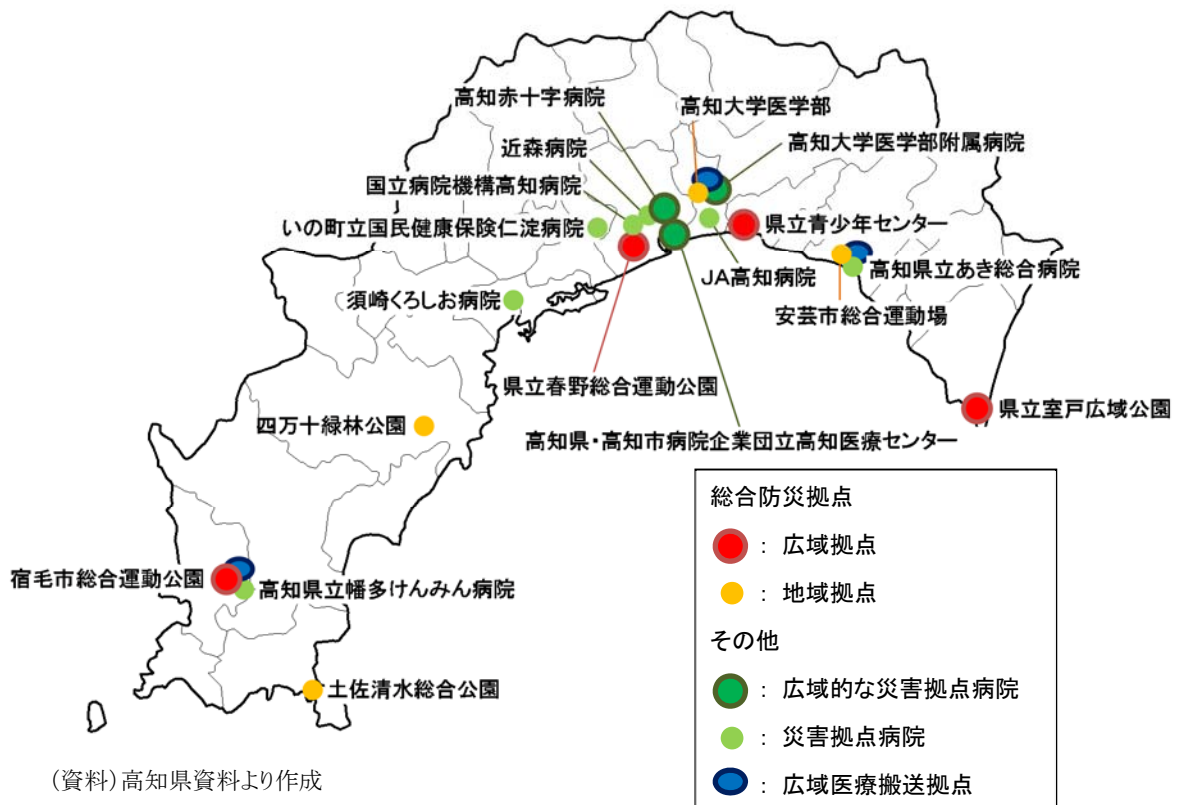
(資料) 高知県ホームページ

図表 II-43 圏域における南海トラフ地震対策の全体イメージ

	揺れ対策	津波対策	火災対策
命を守る	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅の耐震化 ・既存建築物の耐震化 ・室内の安全確保対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・津波の早期検知体制の整備 ・津波対策 ・津波避難経路の安全性の確保 ・津波・浸水被害の軽減 ・実践的な避難訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地の大規模火災等への対策 ・津波火災への対策
	応急対策	避難所対策	医療救護対策
命をつなぐ	<ul style="list-style-type: none"> ・総合防災拠点の整備 ・輸送対策 ・応急対策活動用燃料の確保 ・応急期の機能配置計画の策定 ・応援部隊・物資等の受入体制の整備 ・長期浸水対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所・福祉避難所の確保と運営体制の充実 ・要配慮者への支援 ・保健・衛生活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・前方展開型の医療救護活動の体制整備
	まちづくり	くらしの再建	
立ち上げる 生活	<ul style="list-style-type: none"> ・地籍調査 ・復興都市計画 ・住宅の確保 ・生活を支える拠点のあり方 	<ul style="list-style-type: none"> ・復興の基本的な考え方の整理 ・復興組織体制の整備 ・がれき処理 ・産業の復旧・復興 	

(資料) 高知県資料より作成

図表 II-44 総合防災拠点等の立地状況



(資料) 高知県資料より作成

III. 圏域の将来像と目標

1. 圏域の特徴・強みと課題

高知広域連携中枢都市圏は、高知市を中心とする都市部と、山・川・海をはじめとする豊かな自然環境が生み出す、多様な魅力に恵まれた地域である。

圏域の強みである農業や食料品製造業の集積を背景とした豊かな「食」は、圏域住民はもとより、圏域外でも享受されているほか、圏域内の各地で、地域特性を活かした産業クラスターの形成が進んでいる。また、坂本龍馬をはじめとする歴史資源や、魅力的な自然資源は、圏域外からも多くの観光客を呼んでいる。さらに、県内の商業機能が集積する高知市は、人口や観光客が集中していることから、圏域内各地から集まるモノが消費され、圏域外にも移出されるなど、大きなマーケットとしての役割を果たしている。

また、近年は、県外からの移住者が年々増加しており、地域での暮らしや経済活動の担い手として、圏域に活気をもたらしている。

一方、圏域の中でも、中山間地域等では人口減少と高齢化が顕著に進行することが予想されている。それぞれの地域の住民が、住み慣れた場所での生活を継続できるよう、地域での生活関連サービス機能を維持するほか、高知市に集積する高次都市機能をはじめとした圏域内の様々な機能を、圏域全体で相互に活用するための交通利便性を向上することが求められる。さらに、交通利便性の向上は、圏域住民の生活利便性の向上のみならず、圏域内外でのモノの流通や人の交流の促進にもつながる。

2. 圏域がめざす将来像

圏域の課題を早急に解決するとともに、圏域の特徴や強みをさらに活用するための新しいアイデアの創出や工夫を重ねながら、高知市の中心性を活用した取組を積極的に推進することで、この圏域にしかない新しい価値を生み出し、圏域全体の活力の底上げ、ひいては圏域におけるより豊かな暮らしにつなげていく。

また、圏域の活性化に資する圏域外への魅力の発信やモノの販路拡大等に一層力を入れることで、全国、ひいては海外からの関心を集めるような圏域づくりをめざす。

上記を踏まえて、圏域の将来像を以下のとおり設定する。

山を越え、海を越え、高知に入って地域に広がる。高知を通して世界に出て行く。
安心・快適な暮らしがあり、ここにしかない価値が生まれる高知広域連携中枢都市圏

3. 将来人口の目標

圏域の人口は、高知県の総人口と一致するため、「高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略」に示された高知県人口の将来展望「2060（平成 72）年に約 55 万 7 千人」という目標を踏まえ、本ビジョンに基づく取組による相乗効果により、「2060（平成 72）年時点で、高知県人口の将来展望（約 55 万 7 千人）を上回る」ことを、将来人口の目標とする。

4. 圏域づくりの基本方針

圏域の将来像及び将来人口の目標の実現に向けて、以下のような基本方針に基づき、圏域づくりを進める。

(1) 圏域全体の経済成長のけん引

① 経済データ分析に基づく戦略的な産業振興の推進

県、大学、産業支援機関、金融機関等との連携のもと、統計データを活用した客観的な地域経済分析に基づき、より高い効果が期待できる産業振興方策を検討・展開する。

② 圏域の強みと特性を活用した経済活動活性化の促進

「豊かな食」を中心とした各地域の特産品や工業製品等の開発・生産・ブラッシュアップや、比較的都市部である高知市を拠点とする「二段階移住」の取組による新たな人の流れの創出とともに、販路開拓につながる一大マーケット、一大ショーケースとして高知市を活用することで、圏域経済の活性化を促進する。

③ 歴史と自然を体感できる広域観光の推進

圏域内の歴史資源や自然資源の魅力を束ね、一体的にPRするとともに、ガイドツアーや体験プログラムなどを通じて魅力を体感できる体制を整え、外国人観光客を含めた誘客を推進する。

(2) 高次の都市機能の集積・強化

① 高度医療の体制整備

高度な医療サービス提供の中心となる施設等に対する支援を行い、圏域における高度医療体制の強化を図る。

② 未来の圏域づくりを担う人材の育成

圏域内に複数立地する大学との連携により、将来の担い手となる人材を育成するとともに、地域の魅力を伝えることで、圏域への定着を促進する。

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

① 健康・安心な暮らしを支える地域医療・介護サービスの充実

介護予防を含めた健康づくりのための取り組みを促進するとともに、医療・介護が必要になった時にも、地域で適切なサービスを受けられるような環境の整備を推進する。

② 安心して子育てができる環境の整備

圏域内のどの地域に居住しても、安心して子育てができるよう、保育や相談、情報発信をはじめとする子育て支援サービスの充実を図る。

③ 学び・活動の機会を通じた圏域住民の活力向上

様々な分野での学びや活動の機会を提供することで、圏域住民の活力向上につなげる。

④ 災害に強い圏域づくりの推進

大規模災害の発生を想定し、防災・減災に対応するための体制を整えるとともに、住民一人ひとりによる防災への備えを促進・支援することにより、圏域全体での防災力向上を図る。

⑤ 圏域への関心を高め愛着を育む取組の推進

イベントやまちづくり活動、地産地消等を通じて、圏域住民の地域への関心を高める機会を創出し、圏域への定着促進と愛着の醸成を図る。

⑥ 圏域における行政機能向上に資する取組の推進

人材確保・育成やノウハウの共有等、行政機能向上に資する取組を、圏域全体で推進する。

5. 成果指標（K P I）

圏域の将来像及び将来人口の目標の実現並びに基本方針の達成に向け、各連携分野において以下のとおり成果指標（K P I）を設定し、進捗管理を進める。

(1) 圏域全体の経済成長のけん引

指標	現状値 (平成 29 年度)	目標値 (平成 34 年度)	出典

(2) 高次の都市機能の集積・強化

指標	現状値 (平成 29 年度)	目標値 (平成 34 年度)	出典

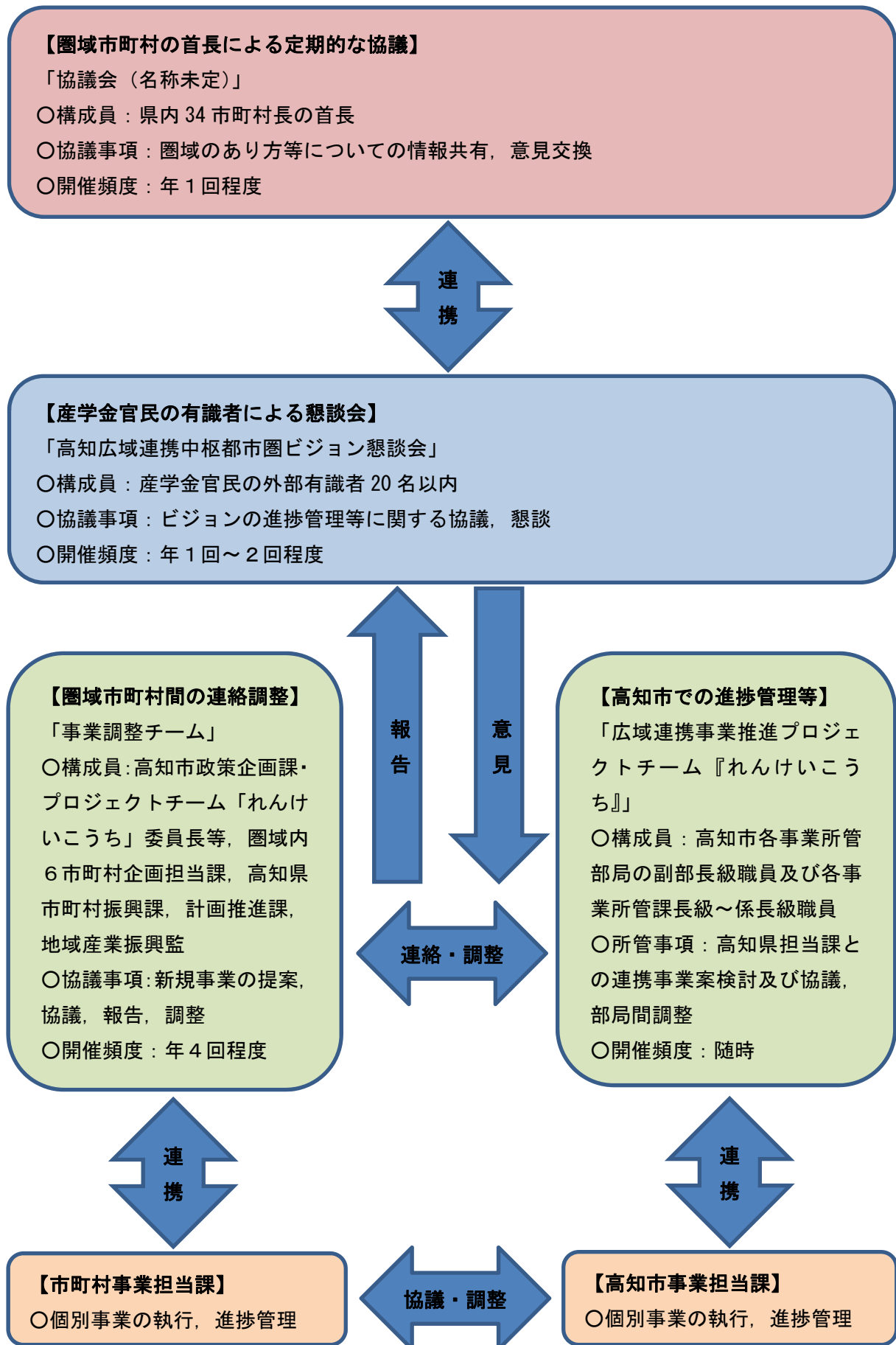
(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

指標	現状値 (平成 29 年度)	目標値 (平成 34 年度)	出典

6. ビジョンの推進体制

ビジョンの推進にあたっては、圏域市町村の首長で構成する「協議会（名称未定）」で圏域のあり方等について情報共有及び意見交換を行うとともに、産学金官民の外部有識者で構成する「高知広域連携中枢都市圏ビジョン策定懇談会」においてビジョンの進捗管理等に関する協議、懇談を行う。また、高知市及び圏域内 6 市町村並びに高知県で構成する「事業調整チーム」と高知市職員で構成する広域連携事業推進プロジェクトチーム「れんけいこうち」で連携事業や連携体制に関する報告、提案、協議、調整等を行い、圏域の市町村が常に意思疎通と現状認識の共有を図りながら役割分担や相互の協力体制を確保しつつ、各連携事業に取り組む。

【推進体制のイメージ】



IV. 将来像の実現に向けた具体的な取組

(1) 圏域全体の経済成長のけん引

【基本方針】

- ・ 経済データ分析に基づく戦略的な産業振興の推進

県、大学、産業支援機関、金融機関等との連携のもと、統計データを活用した客観的な地域経済分析に基づき、より高い効果が期待できる産業振興方策を検討・展開する。

- ・ 圏域の強みと特性を活用した経済活動活性化の促進

「豊かな食」を中心とした各地域の特産品や工業製品等の開発・生産・ブラッシュアップや、比較的都市部である高知市を拠点とする「二段階移住」の取組による新たな人の流れの創出とともに、販路開拓につながる一大マーケット、一大ショーケースとして高知市を活用することで、圏域経済の活性化を推進する。

- ・ 歴史と自然を体感できる広域観光の推進

観光客の軌跡情報分析による広域旅行商品造成などを通じて圏域内の歴史資源や自然資源の魅力を束ね、一体的にPRするとともに、ガイドツアーや体験プログラムなど、圏域の魅力を体感できる体制を整え、外国人観光客を含めた誘客を推進する。

連携して取り組む分野	事業名称
ア 産学金官民産学金官民一体となった経済戦略の策定、国の成長戦略実施のための体制整備	・ 統計データ活用事業
イ 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成	
ウ 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日曜市出店事業 ・ 地場産品販路拡大推進事業 ・ 伝統産業推進事業 ・ 六次産業化推進事業
エ 戦略的な観光施策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域観光推進事業 ・ インバウンド観光推進事業 ・ 人工知能（AI）を活用した外国人観光客への対応
オ その他、圏域全体の経済成長のけん引に係る施策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二段階移住推進事業 ・ 空き店舗等情報発信事業

ア 産学金官民一体となった経済戦略の策定，国の成長戦略実施のための体制整備

事業名		統計データ活用事業										
関係市町村	東洋町	室戸市	北川村	奈半利町	田野町	安田町	馬路村	安芸市	芸西村	香南市	香美市	
	南国市	大豊町	本山町	土佐町	大川村	いの町	土佐市	日高村	佐川町	越知町	仁淀川町	
	須崎市	中土佐町	津野町	梶原町	四万十町	黒潮町	四万十市	宿毛市	大月町	三原村	土佐清水市	
事業概要		高知大学と連携した各種データ分析に関する研究や研修及び情報交換を行い、データ分析の重要性を共有し、産業連関表や各種統計結果の活用方法の学習、各地域の現状や地域間の経済状況の関係性を把握することで、日常業務における実務での活用及び市町村間の連携による相乗効果を創出するような事業の立案を目指す。										
効果		・ 職員のデータ活用能力の向上。 ・ 市町村間で分析モデルの共有が可能になる。 ・ 数値に基づいた戦略的な産業振興につなげる施策立案・評価が可能になる。 ・ 市町村連携による効果的な施策の立案につながる。										
事業費 (千円)		H30		H31		H32		H33		H34		計
活用する国庫補助等												
役割分担 費用負担等	高知市		・ 研修会を主催者として開催 ・ 研究会組織の立ち上げ、運営 ・ 事業実施に要する費用を負担									
	連携市町村		・ 研修会への参加 ・ 学習会への参加、研究会組織の立ち上げ ・ 分析モデルの共有 ・ 必要に応じて、事業実施に要する費用を負担									
重要業績 評価指標 (K P I)	指標			基準値				目標値				
	研修会への参加者数			— (平成 29 年度)				(平成 34 年度)				
	分析モデルの事例件数			— (平成 29 年度)				(平成 34 年度)				

ウ 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

事業名		日曜市出店事業										
関係市町村	東洋町	室戸市	北川村	奈半利町	田野町	安田町	馬路村	安芸市	芸西村	香南市	香美市	
	南国市	大豊町	本山町	土佐町	大川村	いの町	土佐市	日高村	佐川町	越知町	仁淀川町	
	須崎市	中土佐町	津野町	梶原町	四万十町	黒潮町	四万十市	宿毛市	大月町	三原村	土佐清水市	
事業概要		日曜市の中に圏域市町村の出店スペース（れんけい小間）を設け、各市町村が輪番制で観光PRなどの情報発信や農産物・加工品等特産品の販売等を行う。 また、出店市町村と連携しれんけい小間をPRするミニイベント等を行う。										
効果		・ 連携市町村の認知度向上 ・ 連携市町村を訪れる高知市民の増加 ・ 日曜市への出店による売上、顧客創出 ・ 日曜市への出店者増によるにぎわい創出、日曜市の魅力向上										
事業費 （千円）		H30		H31		H32		H33		H34		計
活用する国庫補助等												
役割分担 費用負担等	高知市		・ 日曜市の安全管理、備品管理、出店場所確保等の運営全般 ・ 事業実施に要する費用を負担									
	連携市町村		・ 出店者の確保、PR素材や商品等の準備 ・ 必要に応じて、事業実施に要する費用を負担									
重要業績 評価指標 （KPI）	指標				基準値				目標値			
	連携市町村のPR等実施回数				— （平成29年度）				（平成34年度）			
	「れんけい小間」への来客数				— （平成29年度）				（平成34年度）			

事業名		地場産品販路拡大推進事業										
関係市町村	東洋町	室戸市	北川村	奈半利町	田野町	安田町	馬路村	安芸市	芸西村	香南市	香美市	
	南国市	大豊町	本山町	土佐町	大川村	いの町	土佐市	日高村	佐川町	越知町	仁淀川町	
	須崎市	中土佐町	津野町	梶原町	四万十町	黒潮町	四万十市	宿毛市	大月町	三原村	土佐清水市	
事業概要		バイヤーの多様なニーズに圏域で連携して対応できるよう販路拡大に関する圏域市町村のネットワークを構築する。 高知市が主催・出展する見本市等について，参加者要件を高知市内事業者から圏域全体に拡大し共同出展することでスケールメリットによる販路開拓等の機会を創出する。										
効果		・県内地場産品の販路拡大，市町村の知名度向上 ・生産者，事業者の収益向上 ・共同への見本市出展によるPR等の出展効果向上										
事業費 (千円)		H30		H31		H32		H33		H34		計
活用する国庫補助等												
役割分担 費用負担等	高知市		・市町村と連携しての商談 ・見本市や商談会，物産展などの情報提供や共同出展 ・事業実施に要する費用を負担									
	連携市町村		・高知市及び他市町村と連携しての商談 ・事業者に見本市等の情報提供，PRや販路拡大 ・必要に応じて，事業実施に要する費用を負担									
重要業績 評価指標 (KPI)	指標				基準値				目標値			
	見本市等における商談成立 件数				— (平成 29 年度)				(平成 34 年度)			
	見本市等における事業者参 加数				— (平成 29 年度)				(平成 34 年度)			

事業名	伝統産業推進事業										
関係市町村	東洋町	室戸市	北川村	奈半利町	田野町	安田町	馬路村	安芸市	芸西村	香南市	香美市
	南国市	大豊町	本山町	土佐町	大川村	いの町	土佐市	日高村	佐川町	越知町	仁淀川町
	須崎市	中土佐町	津野町	梶原町	四万十町	黒潮町	四万十市	宿毛市	大月町	三原村	土佐清水市
事業概要	伝統産業の強みを活かしたブランド力・知名度の向上，販路拡大に向けた支援を行うことにより伝統産業の振興を図る。										
効果	・ 伝統産業事業者の所得向上による地域経済の活性化 ・ 雇用の場の創出による労働力人口の流出阻止										
事業費 (千円)	H30		H31		H32		H33		H34		計
活用する国庫補助等											
役割分担 費用負担等	高知市		・ 高知市内における伝統産業の販路拡大，後継者育成対策支援 ・ 事業実施に要する費用を負担								
	連携市町村		・ 市町村における伝統産業の販路拡大，後継者育成対策支援 ・ 必要に応じて，事業実施に要する費用を負担								
重要業績 評価指標 (K P I)	指標				基準値				目標値		
	パンフレット配布部数				— (平成 29 年度)				(平成 34 年度)		
	ウェブサイト閲覧数				— (平成 29 年度)				(平成 34 年度)		

事業名		六次産業化等推進事業										
関係市町村	東洋町	室戸市	北川村	奈半利町	田野町	安田町	馬路村	安芸市	芸西村	香南市	香美市	
	南国市	大豊町	本山町	土佐町	大川村	いの町	土佐市	日高村	佐川町	越知町	仁淀川町	
	須崎市	中土佐町	津野町	梶原町	四万十町	黒潮町	四万十市	宿毛市	大月町	三原村	土佐清水市	
事業概要		高知市が主催する農商工連携セミナーの参加者要件を高知市内事業者から圏域全体に拡大する等、一次・二次・三次産業事業者の交流・マッチングの機会を創出・拡充することで、事業者間のコラボレーションによる新商品開発や販路開拓の促進を図る。										
効果		・各市町村での六次産業化及び農商工連携の促進 ・新商品開発や販路拡大に伴う事業者の所得向上、産業の活性化 ・マッチング対象の拡大による新商品開発や販路拡大の機会創出										
事業費 (千円)		H30		H31		H32		H33		H34		計
活用する国庫補助等												
役割分担 費用負担等	高知市		・圏域全体を対象としたセミナー・マッチングの場の提供 ・事業実施に要する費用を負担									
	連携市町村		・市町村への参加者募集に関する周知 ・生産者・事業者への支援 ・必要に応じて、事業実施に要する費用を負担									
重要業績 評価指標 (K P I)		指標				基準値				目標値		
		マッチングセミナーへの参加者数				— (平成 29 年度)				(平成 34 年度)		

エ 戦略的な観光施策

事業名		広域観光推進事業										
関係市町村	東洋町	室戸市	北川村	奈半利町	田野町	安田町	馬路村	安芸市	芸西村	香南市	香美市	
	南国市	大豊町	本山町	土佐町	大川村	いの町	土佐市	日高村	佐川町	越知町	仁淀川町	
	須崎市	中土佐町	津野町	梶原町	四万十町	黒潮町	四万十市	宿毛市	大月町	三原村	土佐清水市	
事業概要		携帯電話の位置情報ビッグデータを活用し、圏域市町村を訪れる観光客の移動軌跡調査・分析を行う。それにより、観光エリアの特徴・課題を把握し、ターゲット等に応じた効果的な商品開発やプロモーションを圏域市町村で連携して行う。 また、必要に応じて観光資源や受入体制の整備を行う。										
効果		・観光客の動態分析による潜在観光資源の発掘やターゲット毎の具体的な施策の立案 ・連携市町村でターゲットを絞った効果的なPRによる観光客の増加及び観光消費額の増加										
事業費 (千円)		H30		H31		H32		H33		H34		計
活用する国庫補助等												
役割分担 費用負担等		高知市		・地域資源の整理，分析地点選定，動態調査委託 ・広域観光ルートの研究や設定 ・観光客の受入態勢整備，観光プロモーション ・事業実施に要する費用を負担								
		連携市町村		・地域資源の整理，分析地点選定 ・広域観光ルートの研究や設定 ・観光客の受入態勢整備，観光プロモーション ・必要に応じて，事業実施に要する費用を負担								
重要業績 評価指標 (KPI)		指標			基準値				目標値			
		年間観光入込客数			— (平成 29 年度)				(平成 34 年度)			
		県外観光客消費額			— (平成 29 年度)				(平成 34 年度)			

事業名	インバウンド観光推進事業										
関係市町村	東洋町	室戸市	北川村	奈半利町	田野町	安田町	馬路村	安芸市	芸西村	香南市	香美市
	南国市	大豊町	本山町	土佐町	大川村	いの町	土佐市	日高村	佐川町	越知町	仁淀川町
	須崎市	中土佐町	津野町	梶原町	四万十町	黒潮町	四万十市	宿毛市	大月町	三原村	土佐清水市
事業概要	外国人観光客に対応するため、外国語対応可能な観光案内所を高知市中心市街地に常設設置し、通訳スタッフの常駐及び圏域市町村と連携した観光PR等を行い、周遊促進を図る（高知駅前の観光案内所と役割分担・連携を図る）。										
効果	・外国人観光客への連携市町村の観光PRによる圏域への周遊促進及び観光客の増加による観光消費額の増加 ・外国人観光客のニーズにあった広域的な観光案内によるインバウンド観光の推進										
事業費 (千円)	H30		H31		H32		H33		H34		計
活用する国庫補助等											
役割分担 費用負担等	高知市		・中心商店街への常設観光案内所の設置・運営、誘客促進 ・事業実施に要する費用を負担								
	連携市町村		・パンフレット等による情報提供、多言語看板などの受入環境整備 ・必要に応じて、事業実施に要する費用を負担								
重要業績 評価指標 (KPI)	指標				基準値				目標値		
	年間観光入込客数				— (平成 29 年度)				(平成 34 年度)		
	県外観光客消費額				— (平成 29 年度)				(平成 34 年度)		

事業名		人工知能（ＡＩ）を活用した外国人観光客への対応										
関係市町村	東洋町	室戸市	北川村	奈半利町	田野町	安田町	馬路村	安芸市	芸西村	香南市	香美市	
	南国市	大豊町	本山町	土佐町	大川村	いの町	土佐市	日高村	佐川町	越知町	仁淀川町	
	須崎市	中土佐町	津野町	梶原町	四万十町	黒潮町	四万十市	宿毛市	大月町	三原村	土佐清水市	
事業概要		人工知能（ＡＩ）を活用した外国人向け観光案内。 高知新港及び圏域内観光地に端末設置やスマートフォンアプリにより外国語での観光案内を行う。また、AI に対応困難な場合はコールセンターで対応する。										
効果		・外国人観光客への連携市町村の情報発信機会の提供による外国人観光客の増加										
事業費 (千円)		H30		H31		H32		H33		H34		計
活用する国庫補助等												
役割分担 費用負担等		高知市		・外国人観光案内端末設置及びスマートフォンアプリによる観光案内システムの構築・運営 ・事業実施に要する費用を負担								
		連携市町村		・観光案内端末及びスマートフォンアプリへの情報提供 ・必要に応じて、事業実施に要する費用を負担								
重要業績 評価指標 (K P I)		指標			基準値			目標値				
		外国人観光客延べ宿泊者数			— (平成 29 年度)			(平成 34 年度)				

オ その他、圏域全体の経済成長のけん引に係る施策

事業名		空き店舗等情報発信事業									
関係市町村	東洋町	室戸市	北川村	奈半利町	田野町	安田町	馬路村	安芸市	芸西村	香南市	香美市
	南国市	大豊町	本山町	土佐町	大川村	いの町	土佐市	日高村	佐川町	越知町	仁淀川町
	須崎市	中土佐町	津野町	梶原町	四万十町	黒潮町	四万十市	宿毛市	大月町	三原村	土佐清水市
事業概要		圏域内の空き店舗情報及び自治体の支援策を共有し、出店希望者に対し一元的に情報提供することで、出店の促進を図る。									
効果		・圏域の情報一元化により、新規創業希望者の出店希望地域における空き店舗情報や創業支援情報の入手を容易とし、新規出店の推進につながる。									
事業費 (千円)		H30	H31	H32	H33	H34	計				
活用する国庫補助等											
役割分担 費用負担等	高知市	・圏域市町村の空き店舗情報、創業支援メニュー、チャレンジショップ事業等の情報集約 ・ウェブサイトの構築・運用 ・事業実施に要する費用を負担									
	連携市町村	・空き店舗情報、創業支援メニュー、チャレンジショップ事業等の情報提供 ・必要に応じて、事業実施に要する費用を負担									
重要業績 評価指標 (K P I)	指標				基準値			目標値			
	ウェブサイトの閲覧数				— (平成 29 年度)			(平成 34 年度)			

事業名		二段階移住推進事業										
関係市町村	東洋町	室戸市	北川村	奈半利町	田野町	安田町	馬路村	安芸市	芸西村	香南市	香美市	
	南国市	大豊町	本山町	土佐町	大川村	いの町	土佐市	日高村	佐川町	越知町	仁淀川町	
	須崎市	中土佐町	津野町	梶原町	四万十町	黒潮町	四万十市	宿毛市	大月町	三原村	土佐清水市	
事業概要		高知市を拠点とした二段階移住を推進し、圏域全体への移住・定住の促進を図る。 大都市圏などの潜在的な移住希望者を対象として、二段階移住のPR（ハンドブック作成、ポータルサイトの新設など）、一段階目の高知市でのお試し滞在補助・レンタカー補助、市町村のお試し滞在施設との相互利用、連携した相談体制の充実などに取り組む。										
効果		・新たな移住ターゲットの掘り起こし ・連携市町村における移住者の増加及び定住促進 ・県外からの新しい人の流れ										
事業費 （千円）		H30		H31		H32		H33		H34		計
活用する国庫補助等												
役割分担 費用負担等		高知市		・一段階目の受け皿となるお試し滞在 ・パンフレット等による市町村の紹介や市町村窓口への案内・引き継ぎ ・事業実施に要する費用を負担								
		連携市町村		・高知市内を拠点とする二段階移住希望者に対する移住相談及び支援 ・必要に応じて、事業実施に要する費用を負担								
重要業績 評価指標 （KPI）		指標			基準値			目標値				
		高知市内でのお試し滞在利用件数			— （平成 29 年度）			（平成 34 年度）				
		圏域外からの二段階移住相談件数			— （平成 29 年度）			（平成 34 年度）				

(2) 高次の都市機能の集積・強化

【基本方針】

・高度医療の体制整備

高度な医療サービス提供の中心的な担い手となる施設等に対する支援を行い、圏域における高度医療体制の強化を図る。

・未来の圏域づくりを担う人材の育成

圏域内に複数立地する大学との連携により、将来の担い手となる人材を育成するとともに、地域の魅力を伝えることで圏域への定着を促進する。

連携して取り組む分野	事業名称
ア 高度な医療サービスの提供	・新高知赤十字病院への支援
イ 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築	
ウ 高等教育・研究開発の環境整備	
エ その他、高次の都市機能の集積・強化に係る施策	・高知みらい科学館機能の強化

ア 高度な医療サービスの提供

事業名		新高知赤十字病院への支援									
関係市町村	東洋町	室戸市	北川村	奈半利町	田野町	安田町	馬路村	安芸市	芸西村	香南市	香美市
	南国市	大豊町	本山町	土佐町	大川村	いの町	土佐市	日高村	佐川町	越知町	仁淀川町
	須崎市	中土佐町	津野町	梶原町	四万十町	黒潮町	四万十市	宿毛市	大月町	三原村	土佐清水市
事業概要		高知赤十字病院の津波長期浸水エリア外への移転を支援し、救急医療等の拠点機能を確保するとともに、南海トラフ地震発生時の県内の災害拠点病院としての機能を確保し、圏域全体が平時・災害時を問わず必要な医療サービスを楽しむことができる環境の整備を図る。									
効果		・ 平時の救急・高度医療提供体制確保 ・ 災害時の医療提供体制確保域									
事業費 (千円)		H30	H31	H32	H33	H34	計				
		-									
活用する国庫補助等											
役割分担 費用負担等	高知市	・ 赤十字病院の移転に要する経費を高知県と協調して支援 ・ 赤十字病院等を核としたさらなる連携方法の検討 ・ 事業実施に要する費用を負担									
	連携市町村	・ 赤十字病院等を核としたさらなる連携方法の検討									
重要業績 評価指標 (K P I)	指標			基準値			目標値				
				— (平成 29 年度)			(平成 34 年度)				

エ その他、高次の都市機能の集積・強化に係る施策

事業名	高知みらい科学館機能の強化										
関係市町村	東洋町	室戸市	北川村	奈半利町	田野町	安田町	馬路村	安芸市	芸西村	香南市	香美市
	南国市	大豊町	本山町	土佐町	大川村	いの町	土佐市	日高村	佐川町	越知町	仁淀川町
	須崎市	中土佐町	津野町	梶原町	四万十町	黒潮町	四万十市	宿毛市	大月町	三原村	土佐清水市
事業概要	県内唯一の科学館である「高知みらい科学館」の機能を活用し、圏域全体の学校等を対象とした理科学習や科学体験に関する事業の充実及び質の向上を図る。										
効果											
事業費 (千円)	H30		H31		H32		H33		H34		計
活用する国庫補助等											
役割分担	高知市										
費用負担等	連携市町村										
重要業績 評価指標 (K P I)	指標				基準値				目標値		
					— (平成 29 年度)				(平成 34 年度)		

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

【基本方針】

- ・健康・安心な暮らしを支える地域医療・介護サービスの充実

介護予防を含めた健康づくりのための取組を促進するとともに、医療・介護が必要になった時にも、地域で適切なサービスを受けられるような環境の整備を推進する。

- ・安心して子育てができる環境の整備

圏域内のどの地域に居住しても、安心して子育てができるよう、保育や相談、情報発信をはじめとする子育て支援サービスの充実を図る。

- ・学び・活動の機会を通じた圏域住民の活力向上

様々な分野での学びや活動の機会を提供することで、圏域住民の活力向上につなげる。

- ・災害に強い圏域づくりの推進

大規模災害の発生を想定し、防災・減災に対応するための体制を整えるとともに、住民一人ひとりによる防災への備えを促進・支援することにより、圏域全体での防災力向上を図る。

- ・圏域への関心を高め愛着を育む取組の推進

イベントやまちづくり活動、地産地消等を通じて、県域住民の地域への関心を高める機会を創出し、圏域への定着促進と愛着の造成を図る。

- ・圏域における行政機能向上に資する取組の推進

人材確保・育成やノウハウの共有等、行政機能向上に資する取組を圏域全体で推進する。

連携して取り組む分野		事業名称
ア 生活機能の強化に係る政策分野	① 地域医療	
	② 介護	
	③ 福祉	子育て支援事業（ファミリー・サポート・センターの広域連携）
	④ 教育・文化・スポーツ	
	⑤ 土地利用	
	⑥ 地域振興	新規就農者の確保
	⑦ 災害対策	防災リーダー育成事業
	⑧ 環境	水道事業広域実施（人材育成等）
イ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	① 地域公共交通	
	② ICTインフラ整備	
	③ 道路等の交通インフラの整備・維持	
	④ 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消	
	⑤ 地域内外の住民との交流・移住促進	
	⑥ その他、結びつきやネットワークの強化に係る連携	
ウ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	① 人材の育成	
	② 外部からの行政及び民間人材の確保	
	③ 圏域内市町村の職員等の交流	職員交流による連携強化と能力向上
	④ その他、圏域マネジメント能力の強化に係る連携	ウェブサイトの活用による情報共有・普及啓発

ア 生活機能の強化に係る政策分野

③ 福祉

事業名		子育て支援事業（ファミリー・サポート・センターの相互利用）										
関係市町村	東洋町	室戸市	北川村	奈半利町	田野町	安田町	馬路村	安芸市	芸西村	香南市	香美市	
	南国市	大豊町	本山町	土佐町	大川村	いの町	土佐市	日高村	佐川町	越知町	仁淀川町	
	須崎市	中土佐町	津野町	梶原町	四万十町	黒潮町	四万十市	宿毛市	大月町	三原村	土佐清水市	
事業概要		連携市町村のファミリー・サポート・センター設置に向けた支援，市町村域を越えたサービスの提供及び援助会員養成講習会の開催等を行うことにより，圏域全体のサービスの質の向上を図りながら，子育て中の家庭への支援を拡充する。										
効果		・ 提供する子育て支援サービスの質等の確保・統一化 ・ 連携市町村におけるファミリー・サポート・センター運営のノウハウ取得 ・ センター利用者拡大，利便性の向上										
事業費 （千円）		H30		H31		H32		H33		H34		計
活用する国庫補助等												
役割分担 費用負担等	高知市		・ ファミリー・サポート・センター運営ノウハウの提供 ・ 広域利用ルールの策定等 ・ 事業実施に要する費用を負担									
	連携市町村		・ ファミリー・サポート・センターの設置検討 ・ 広域利用ルールの策定等 ・ 必要に応じて，事業実施に要する費用を負担									
重要業績 評価指標 （ K P I ）	指標				基準値				目標値			
					— （平成 29 年度）				（平成 34 年度）			

⑥ 地域振興

事業名		新規就農者の確保									
関係市町村	東洋町	室戸市	北川村	奈半利町	田野町	安田町	馬路村	安芸市	芸西村	香南市	香美市
	南国市	大豊町	本山町	土佐町	大川村	いの町	土佐市	日高村	佐川町	越知町	仁淀川町
	須崎市	中土佐町	津野町	梶原町	四万十町	黒潮町	四万十市	宿毛市	大月町	三原村	土佐清水市
事業概要		高知市と連携市町村が合同で、就農相談会を高知県内で開催する。 新規就農者及び研修受入農家等に対する助成、受入農家の交流促進・合同研修なども検討する。									
効果		・ 農業従事者の増加 ・ 圏域の農業の維持・発展									
事業費 (千円)		H30	H31	H32	H33	H34	計				
活用する国庫補助等											
役割分担 費用負担等	高知市	・ 県内での合同就農相談会の開催 ・ 事業実施に要する費用を負担									
	連携市町村	・ 合同就農相談会開催に係る周知 ・ 合同就農相談会でのブース設置 ・ 必要に応じて、事業実施に要する費用を負担									
重要業績 評価指標 (K P I)	指標			基準値			目標値				
	就農相談会への参加者数			— (平成 29 年度)			(平成 34 年度)				
	新規就農者数			— (平成 29 年度)			(平成 34 年度)				

⑦ 災害対策

事業名		防災リーダー育成事業									
関係市町村	東洋町	室戸市	北川村	奈半利町	田野町	安田町	馬路村	安芸市	芸西村	香南市	香美市
	南国市	大豊町	本山町	土佐町	大川村	いの町	土佐市	日高村	佐川町	越知町	仁淀川町
	須崎市	中土佐町	津野町	梶原町	四万十町	黒潮町	四万十市	宿毛市	大月町	三原村	土佐清水市
事業概要		圏域全体の防災力向上を図るため、地域で防災活動に取り組む防災リーダー「災害に強い人」を育成する。高知市が開催する防災の各専門分野の講師による全8回の講座において、参加者要件を高知市内在住・在勤者から圏域全体に拡大するとともに圏域内数箇所にサテライト会場を設置し双方向による受講を可能とする。 また、講座修了生等を対象に防災士資格取得を支援する。									
効果		・圏域で防災知識を持つ人材が増加することによる市町村の防災力向上及び災害時の被害軽減									
事業費 (千円)		H30	H31	H32	H33	H34	計				
活用する国庫補助等											
役割分担 費用負担等	高知市	・防災人づくり塾の開催・運営 ・防災士資格取得支援 ・事業実施に要する費用を負担									
	連携市町村	・人づくり塾の市町村住民への周知・開催協力 ・必要に応じて、事業実施に要する費用を負担									
重要業績 評価指標 (K P I)	指標			基準値			目標値				
	防災人づくり塾修了者数			114 人 (平成 28 年度)			200 人 (平成 34 年度)				

⑧ 環境

事業名		水道事業広域実施（人材育成等）										
関係市町村	東洋町	室戸市	北川村	奈半利町	田野町	安田町	馬路村	安芸市	芸西村	香南市	香美市	
	南国市	大豊町	本山町	土佐町	大川村	いの町	土佐市	日高村	佐川町	越知町	仁淀川町	
	須崎市	中土佐町	津野町	梶原町	四万十町	黒潮町	四万十市	宿毛市	大月町	三原村	土佐清水市	
事業概要		水道事業の知識や技術の継承及び災害時対応について、高知市が行う水道事業実務研修の対象者を圏域全体に拡大することで効率的な人材育成に努める。 また、連携市町村での情報の共有・統一化等により業務の効率化を図る。										
効果		・ 職員の能力向上，技術継承 ・ 研修機会の増加及び内容の充実										
事業費 （千円）		H30		H31		H32		H33		H34		計
活用する国庫補助等												
役割分担 費用負担等	高知市		・ 連携可能な業務の調査・提案 ・ 研修の開催案内 ・ 事業実施に要する費用を負担									
	連携市町村		・ 連携希望業務の洗い出し ・ 研修への参加 ・ 必要に応じて、事業実施に要する費用を負担									
重要業績 評価指標 （ K P I ）	指標				基準値				目標値			
	高知市職員研修への参加者数				— （平成 29 年度）				年間 5 人 （平成 34 年度）			

ウ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

③ 圏域市町村の職員等の交流

事業名		職員交流による連携強化と能力向上										
関係市町村	東洋町	室戸市	北川村	奈半利町	田野町	安田町	馬路村	安芸市	芸西村	香南市	香美市	
	南国市	大豊町	本山町	土佐町	大川村	いの町	土佐市	日高村	佐川町	越知町	仁淀川町	
	須崎市	中土佐町	津野町	梶原町	四万十町	黒潮町	四万十市	宿毛市	大月町	三原村	土佐清水市	
事業概要		連携市町村から高知市へ派遣職員の受け入れ及び交流派遣を行い、多様な行政案件を処理することで派遣職員の能力の向上を図るとともに、高知市職員研修への参加機会の提供等により職員の能力向上を図る。 また、共通した行政課題について、連携市町村間での情報交換を行うほか、相互連携が可能な事業については共同して事業を実施する。										
効果		・ 職員の専門的能力向上 ・ 法改正等に伴う制度変更への迅速な対応										
事業費 (千円)		H30		H31		H32		H33		H34		計
活用する国庫補助等												
役割分担 費用負担等	高知市		・ 職員の派遣・受入の調整 ・ 研修開催についての情報提供、参加者の調整 ・ 共同事業の実施、情報交換 ・ 事業実施に要する費用を負担									
	連携市町村		・ 職員の派遣・受入の調整 ・ 研修への参加申し込み、参加 ・ 共同事業の実施、情報交換 ・ 必要に応じて、事業実施に要する費用を負担									
重要業績 評価指標 (K P I)	指標				基準値				目標値			
	高知市への派遣職員数				— (平成 29 年度)				(平成 34 年度)			
	高知市職員研修への参加者数				— (平成 29 年度)				(平成 34 年度)			

④ その他、圏域マネジメント能力の強化に係る連携

事業名	ウェブサイトの活用による情報共有・普及啓発										
関係市町村	東洋町	室戸市	北川村	奈半利町	田野町	安田町	馬路村	安芸市	芸西村	香南市	香美市
	南国市	大豊町	本山町	土佐町	大川村	いの町	土佐市	日高村	佐川町	越知町	仁淀川町
	須崎市	中土佐町	津野町	梶原町	四万十町	黒潮町	四万十市	宿毛市	大月町	三原村	土佐清水市
事業概要	連携事業の実施運営の効率化を図るため、ウェブサイトを活用して連携市町村の事業担当者間の情報共有効率化やアドレス帳などの管理運営を行う。 また、圏域内の住民等に連携中枢の取組を広報する。										
効果	・ 効率的な情報共有・情報発信 ・ 市町村住民への普及啓発										
事業費 (千円)	H30		H31		H32		H33		H34		計
活用する国庫補助等											
役割分担 費用負担等	高知市		・ ウェブサイトの構築・運営管理 ・ 事業実施に要する費用を負担								
	連携市町村		・ 市町村情報の提供 ・ 必要に応じて、事業実施に要する費用を負担								
重要業績 評価指標 (K P I)	指標				基準値				目標値		
	ウェブサイトの閲覧件数				— (平成 29 年度)				(平成 34 年度)		

【連携事業の体系・K P I】

連携分野	K P I	基本方針	取組	事業名称	K P I
(1) 圏域全体の経済成長のけん引		・経済データ分析に基づく戦略的な産業振興の推進 ・圏域の強みと特性を活用した経済活動活性化の促進 ・歴史と自然を体感できる広域観光の推進	ア 産学官民産学官民一体となった経済戦略の策定、国の成長戦略実施のための体制整備	統計データ活用事業	研修会への参加者数 分析モデルの事例件数
			イ 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成		
			ウ 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	日曜市出店事業	連携市町村のP R等実施回数 「れんけい小間」への来客数
				地場産品販路拡大推進事業	見本市等における商談成立件数 見本市等における事業者参加数
				伝統産業推進事業	パンフレット配布部数 ウェブサイト閲覧数
				六次産業化推進事業	マッチングセミナーへの参加者数
			エ 戦略的な観光施策	広域観光推進事業	年間観光入込客数 県外観光客消費額
				インバウンド観光推進事業	年間観光入込客数 県外観光客消費額
				人工知能（A I）を活用した外国人観光客への対応	外国人観光客延べ宿泊者数
			オ その他、圏域全体の経済成長のけん引に係る施策	二段階移住推進事業	高知市内でのお試し滞在施設利用件数 圏域外からの二段階移住相談件数
				空き店舗情報発信事業	ウェブサイトの閲覧数
(2) 高次の都市機能の集積・強化		・高度医療の体制整備 ・未来の圏域づくりを担う人材の育成	ア 高度な医療サービスの提供	新高知赤十字病院への支援	
			イ 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築		
			ウ 高等教育・研究開発の環境整備		
			エ その他、高次の都市機能の集積・強化に係る施策	高知みらい科学館機能の強化	
(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上		・健康・安心な暮らしを支える地域医療・介護サービスの充実 ・安心して子育てができる環境の整備 ・学び・活動の機会を通じた圏域住民の活力向上 ・災害に強い圏域づくりの推進 ・圏域への関心を高め愛着を育む取組の推進 ・圏域における行政機能向上に資する取組の推進	ア 生活機能の強化に係る政策分野	① 地域医療	
				② 介護	
				③ 福祉	子育て支援事業（ファミリー・サポート・センターの広域連携）
				④ 教育・文化・スポーツ	
				⑤ 土地利用	
				⑥ 地域振興	新規就農者の確保 就農相談会への参加者数 新規就農者数
				⑦ 災害対策	防災リーダー育成事業 防災人づくり塾修了者数
				⑧ 環境	水道事業広域実施（人材育成等） 高知市職員研修への参加者数
			イ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	① 地域公共交通	
				② I C Tインフラ整備	
				③ 道路等の交通インフラの整備・維持	
				④ 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消	
				⑤ 地域内外の住民との交流・移住促進	
				⑥ その他、結びつきやネットワークの強化に係る連携	
			ウ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	① 人材の育成	
				② 外部からの行政及び民間人材の確保	
				③ 圏域内市町村の職員等の交流	職員交流による連携強化と能力向上 高知市への派遣職員数 高知市職員研修への参加者数
				④ その他、圏域マネジメント能力の強化に係る連携	ウェブサイトの活用による情報共有・普及啓発 ウェブサイトの閲覧件数